

第3次周南市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

(資料編)

令和7(2025)年2月

周南市

目 次

資料 1	ごみ組成調査	1
資料 2	市民アンケート.....	11
資料 3	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の将来推計.....	28

資料1 ごみ組成調査

1 調査の目的

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）に基づき、平成 27 年 3 月に策定した「第 2 次周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（以下、「第 2 次計画」という。）の 10 年間の計画期間が満了となることから、近年の社会の変化や実情を考慮した新たな「第 3 次周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（以下、「本計画」という。）を策定するにあたり、周南市（以下「本市」という。）において排出されるごみの性状について把握するとともに、第 2 次計画と比較し、減量化・再資源化を進めていくための基礎資料とするため、家庭系燃やせるごみについて、ごみ組成調査を実施しました。

2 調査対象ごみ

調査対象とするごみは家庭系燃やせるごみとし、調査検体は合計 5 検体（1 検体につき、ごみ袋 10 袋）としました。

また、調査検体は、平成 15 年度合併前の旧市町村の地域を基本とした地域別に人口等を勘案してサンプリングするものとし、次の表に示すとおり実施しました。

◆図表 1-1 調査対象

対象地域	調査検体数	サンプリングターゲット地区
徳山地域	3 検体	①遠石、②周陽、③今宿
新南陽・鹿野地域	1 検体	④新南陽
熊毛地域	1 検体	⑤熊毛

3 調査の方法

1 検体あたり 15 袋を収集し、明らかに内容物が偏っていると思われるごみ袋を除外したうえで、最終的に 10 袋となるよう無作為に抽出を行い、調査検体としました。

調査検体ごとにごみを別途設定したごみ種類ごとに分類し、それぞれのごみ種類別に重量及び体積※を測定しました。

※本計画においては重量の数値を活用するものとします。

4 調査場所

調査場所は、燃やせるごみの処理施設である、恋路クリーンセンターのプラットホームの一部区画にて実施しました。

◆図表 1-2 恋路クリーンセンターのプラットホームでの作業状況



5 調査日程

調査日程は、令和6年5月30日（木）、令和6年5月31日（金）の2日間で実施しました。組成調査実施当日に調査検体を受け取り、調査を実施しました。

◆図表 1-3 調査日程

		恋路クリーンセンター		
		徳山（3検体）	新南陽・鹿野（1検体）	熊毛（1検体）
5/30 （木）	午前	● ↓ 組成調査 ● ↓ 組成調査 ● ↓ 組成調査		
	午後			
5/31 （金）	午前		● ↓ 組成調査 ● ↓ 組成調査	● ↓ 組成調査 ● ↓ 組成調査
	午後			● ↓ 組成調査 ● ↓ 組成調査

6 調査結果

調査結果は図表 1-5～9 に示すとおりです。また、各検体の調査結果を徳山地域、新南陽・鹿野地域、熊毛地域それぞれの令和 5 年度末人口によって加重平均し（図表 1-4）、本市全体のごみ組成としました。（図表 1-10）

なお、徳山地域は 3 検体分調査を行ったため、徳山地域の 1 検体ごとの重みは徳山地域人口の 1/3 として算出しました。

◆図表 1-4 地域別人口割合

	行政区域内人口	割合	調査結果算定に 用いた人口
（結果 A）徳山地域①遠石	89,596 人	22.07%	29,865 人
（結果 B）徳山地域②周陽		22.07%	29,865 人
（結果 C）徳山地域③今宿		22.07%	29,865 人
（結果 D） 新南陽・鹿野地域④新南陽	31,550 人	23.32%	31,551 人
（結果 E）熊毛地域⑤熊毛	14,169 人	10.47%	14,169 人
合 計	135,315 人	100%	135,315 人

●加重平均の計算方法

$$\text{平均値} = \frac{(\text{結果 A} \times 29,865 + \text{結果 B} \times 29,865 + \text{結果 C} \times 29,865 + \text{結果 D} \times 31,551 + \text{結果 E} \times 14,169)}{135,315}$$

◆図表 1-5 ごみ組成調査結果（令和6年度実施）（徳山地域①遠石）

大分類	中分類	小分類	区分	重量		体積	
				(kg)	(%)	(m ³)	(%)
可燃物系	紙製容器包装	飲料紙製容器(リサイクル可能)	再資源化可能	0.27	0.8%	0.017	3.7%
		段ボール(リサイクル可能)	再資源化可能	0.78	2.3%	0.007	1.6%
		紙製容器包装(リサイクル可能)	再資源化可能	0.66	1.9%	0.021	4.5%
		飲料紙製容器(焼却対象)	適正排出	0.08	0.2%	0.002	0.4%
		紙製容器包装(焼却対象)※汚れた紙製容器包装	適正排出	0.32	0.9%	0.012	2.6%
	紙製容器包装以外の紙類	新聞・広告(リサイクル可能)	再資源化可能	4.72	13.8%	0.058	12.5%
		雑誌・本(リサイクル可能)	再資源化可能	0.12	0.4%	0.000	0.1%
		雑誌・み(リサイクル可能)	再資源化可能	1.36	4.0%	0.051	10.9%
		新聞・広告(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	0.73	2.1%	0.025	5.4%
		雑誌・み(焼却対象)※汚れているもの、感熱紙など	適正排出	3.66	10.7%	0.047	10.0%
	紙おむつ	紙おむつ	適正排出	1.99	5.8%	0.015	3.1%
	衣類	衣類(リサイクル可能)	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		衣類(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	1.23	3.6%	0.009	2.0%
	布類	布類(焼却対象)	適正排出	1.39	4.1%	0.014	3.0%
	生ごみ	調理くず	削減可能	7.23	21.2%	0.017	3.7%
		手つかず食品	削減可能	1.44	4.2%	0.006	1.4%
		食べ残し	削減可能	1.97	5.8%	0.004	0.8%
	木・竹・わら類	剪定枝、草、花など	適正排出	0.71	2.1%	0.003	0.7%
	その他(可燃物)	上記以外の可燃物類(煙草の吸殻、髪の毛 ほか)	適正排出	1.62	4.8%	0.013	2.9%
不燃物系	プラスチック類	ペットボトル	再資源化可能	0.22	0.6%	0.012	2.6%
		容器包装類	再資源化可能	0.49	1.4%	0.041	8.7%
		(容器包装類のうちレジ袋)	—	(0.07)	(0.2%)	(0.011)	(2.3%)
		容器包装類(汚れたもの)	適正排出	1.76	5.2%	0.045	9.6%
		容器包装以外(市販ごみ袋)	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		容器包装以外(市指定ごみ袋)	適正排出	0.30	0.9%	0.032	6.8%
		容器包装以外(プラスチック製品)	異物	0.52	1.5%	0.009	2.0%
		容器包装以外(中身がプラスチック製品のクッション等)	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	金属類	空き缶類	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		鉄パイプなど金属類全般	異物	0.10	0.3%	0.002	0.4%
	処理困難物① (ガラス・陶磁器類)	ガラスびん	再資源化可能	0.22	0.6%	0.000	0.1%
		びん類以外のガラス類全般	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	処理困難物② (ガラス・陶磁器類を除く)	電池類、刃物、蛍光灯、水銀温度計、体温計、灰、ビデオテープ、ライター、保冷剤、石灰系乾燥材、薬剤容器(洗剤、除草剤、殺虫剤)、ほか	異物	0.14	0.4%	0.001	0.3%
	その他(不燃物)	上記以外の不燃物類(シリカゲル系乾燥剤、カイロほか)	異物	0.07	0.2%	0.001	0.1%
調査ごみ合計				34.10	100.0%	0.467	100.0%

※端数処理の関係上、若干の誤差を含む

◆図表 1-6 ごみ組成調査結果（令和6年度実施）（徳山地域②周陽）

大分類	中分類	小分類	区分	重量		体積	
				(kg)	(%)	(m ³)	(%)
可燃物系	紙製容器包装	飲料紙製容器(リサイクル可能)	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		段ボール(リサイクル可能)	再資源化可能	0.03	0.1%	0.000	0.0%
		紙製容器包装(リサイクル可能)	再資源化可能	0.71	2.3%	0.029	6.6%
		飲料紙製容器(焼却対象)	適正排出	0.21	0.7%	0.007	1.5%
		紙製容器包装(焼却対象)※汚れた紙製容器包装	適正排出	0.98	3.1%	0.033	7.6%
	紙製容器包装以外の紙類	新聞・広告(リサイクル可能)	再資源化可能	1.58	5.0%	0.038	8.7%
		雑誌・本(リサイクル可能)	再資源化可能	0.59	1.9%	0.001	0.3%
		雑誌・み(リサイクル可能)	再資源化可能	1.05	3.3%	0.044	10.1%
		新聞・広告(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	1.23	3.9%	0.024	5.4%
		雑誌・み(焼却対象)※汚れているもの、感熱紙など	適正排出	4.49	14.3%	0.057	13.2%
	紙おむつ	紙おむつ	適正排出	2.29	7.3%	0.011	2.4%
	衣類	衣類(リサイクル可能)	再資源化可能	0.57	1.8%	0.006	1.3%
		衣類(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	0.33	1.1%	0.003	0.7%
	布類	布類(焼却対象)	適正排出	0.02	0.1%	0.000	0.1%
	生ごみ	調理くず	削減可能	7.36	23.4%	0.019	4.4%
		手つかず食品	削減可能	4.03	12.8%	0.010	2.4%
		食べ残し	削減可能	1.45	4.6%	0.005	1.2%
	木・竹・わら類	剪定枝、草、花など	適正排出	1.12	3.6%	0.013	2.9%
	その他(可燃物)	上記以外の可燃物類(煙草の吸殻、髪の毛 ほか)	適正排出	0.40	1.3%	0.004	0.9%
不燃物系	プラスチック類	ペットボトル	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		容器包装類	再資源化可能	1.10	3.5%	0.076	17.5%
		(容器包装類のうちレジ袋)	—	(0.42)	(1.3%)	(0.029)	(6.6%)
		容器包装類(汚れたもの)	適正排出	1.15	3.7%	0.015	3.4%
		容器包装以外(市販ごみ袋)	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		容器包装以外(市指定ごみ袋)	適正排出	0.27	0.9%	0.033	7.5%
		容器包装以外(プラスチック製品)	異物	0.23	0.7%	0.005	1.1%
		容器包装以外(中身がプラスチック製品のクッション等)	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	金属類	空き缶類	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		鉄パイプなど金属類全般	異物	0.20	0.6%	0.003	0.7%
	処理困難物① (ガラス・陶磁器類)	ガラスびん	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		びん類以外のガラス類全般	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	処理困難物② (ガラス・陶磁器類を除く)	電池類、刃物、蛍光灯、水銀温度計、体温計、灰、ビデオテープ、ライター、保冷剤、石灰系乾燥材、薬剤容器(洗剤、除草剤、殺虫剤)、ほか	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	その他(不燃物)	上記以外の不燃物類(シリカゲル系乾燥剤、カイロほか)	異物	0.02	0.1%	0.000	0.1%
調査ごみ合計				31.41	100.0%	0.436	100.0%

※端数処理の関係上、若干の誤差を含む

◆図表 1-7 ごみ組成調査結果（令和6年度実施）（徳山地域③今宿）

大分類	中分類	小分類	区分	重量		体積	
				(kg)	(%)	(m ³)	(%)
可燃物系	紙製容器包装	飲料紙製容器(リサイクル可能)	再資源化可能	0.06	0.2%	0.001	0.2%
		段ボール(リサイクル可能)	再資源化可能	0.23	0.8%	0.001	0.3%
		紙製容器包装(リサイクル可能)	再資源化可能	1.46	4.8%	0.044	10.3%
		飲料紙製容器(焼却対象)	適正排出	0.23	0.8%	0.007	1.7%
		紙製容器包装(焼却対象)※汚れた紙製容器包装	適正排出	0.15	0.5%	0.008	1.8%
	紙製容器包装以外の紙類	新聞・広告(リサイクル可能)	再資源化可能	0.50	1.6%	0.023	5.5%
		雑誌・本(リサイクル可能)	再資源化可能	0.15	0.5%	0.000	0.0%
		雑誌・み(リサイクル可能)	再資源化可能	1.62	5.3%	0.021	4.8%
		新聞・広告(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	1.17	3.9%	0.034	8.0%
		雑誌・み(焼却対象)※汚れているもの、感熱紙など	適正排出	5.10	16.8%	0.047	11.0%
	紙おむつ	紙おむつ	適正排出	3.23	10.7%	0.014	3.2%
	衣類	衣類(リサイクル可能)	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		衣類(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	0.37	1.2%	0.003	0.6%
	布類	布類(焼却対象)	適正排出	0.63	2.1%	0.015	3.6%
	生ごみ	調理くず	削減可能	6.53	21.5%	0.025	5.9%
		手つかず食品	削減可能	2.74	9.0%	0.012	2.9%
		食べ残し	削減可能	0.68	2.2%	0.004	0.9%
	木・竹・わら類	剪定枝、草、花など	適正排出	0.39	1.3%	0.006	1.4%
	その他(可燃物)	上記以外の可燃物類(煙草の吸殻、髪の毛 ほか)	適正排出	2.05	6.8%	0.011	2.5%
不燃物系	プラスチック類	ペットボトル	再資源化可能	0.06	0.2%	0.001	0.3%
		容器包装類	再資源化可能	0.39	1.3%	0.044	10.2%
		(容器包装類のうちレジ袋)	—	(0.10)	(0.3%)	(0.021)	(4.8%)
		容器包装類(汚れたもの)	適正排出	1.87	6.2%	0.047	11.0%
		容器包装以外(市販ごみ袋)	再資源化可能	0.02	0.1%	0.005	1.2%
		容器包装以外(市指定ごみ袋)	適正排出	0.25	0.8%	0.048	11.1%
		容器包装以外(プラスチック製品)	異物	0.24	0.8%	0.004	0.9%
		容器包装以外(中身がプラスチック製品のクッション等)	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	金属類	空き缶類	再資源化可能	0.14	0.5%	0.003	0.7%
		鉄パイプなど金属類全般	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	処理困難物① (ガラス・陶磁器類)	ガラスびん	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		びん類以外のガラス類全般	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	処理困難物② (ガラス・陶磁器類を除く)	電池類、刃物、蛍光灯、水銀温度計、体温計、灰、ビデオテープ、ライター、保冷剤、石灰系乾燥材、薬剤容器(洗剤、除草剤、殺虫剤)、ほか	異物	0.05	0.2%	0.000	0.0%
	その他(不燃物)	上記以外の不燃物類(シリカゲル系乾燥剤、カイロほか)	異物	0.01	0.0%	0.000	0.0%
調査ごみ合計				30.32	100.0%	0.429	100.0%

※端数処理の関係上、若干の誤差を含む

◆図表 1-8 ごみ組成調査結果（令和6年度実施）（新南陽・鹿野地域④新南陽）

大分類	中分類	小分類	区分	重量		体積	
				(kg)	(%)	(m ³)	(%)
可燃物系	紙製容器包装	飲料紙製容器(リサイクル可能)	再資源化可能	0.08	0.2%	0.002	0.4%
		段ボール(リサイクル可能)	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		紙製容器包装(リサイクル可能)	再資源化可能	1.15	3.2%	0.040	8.3%
		飲料紙製容器(焼却対象)	適正排出	0.06	0.2%	0.002	0.4%
		紙製容器包装(焼却対象)※汚れた紙製容器包装	適正排出	0.30	0.8%	0.009	1.9%
	紙製容器包装以外の紙類	新聞・広告(リサイクル可能)	再資源化可能	1.07	2.9%	0.045	9.3%
		雑誌・本(リサイクル可能)	再資源化可能	0.34	0.9%	0.000	0.0%
		雑誌がみ(リサイクル可能)	再資源化可能	0.66	1.8%	0.022	4.5%
		新聞・広告(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	2.05	5.6%	0.043	8.9%
		雑誌がみ(焼却対象)※汚れているもの、感熱紙など	適正排出	3.23	8.9%	0.039	8.1%
	紙おむつ	紙おむつ	適正排出	6.55	18.0%	0.033	6.8%
	衣類	衣類(リサイクル可能)	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		衣類(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	0.45	1.2%	0.006	1.3%
	布類	布類(焼却対象)	適正排出	0.34	0.9%	0.003	0.7%
	生ごみ	調理くず	削減可能	10.18	28.0%	0.028	5.9%
		手つかず食品	削減可能	0.61	1.7%	0.002	0.5%
		食べ残し	削減可能	2.32	6.4%	0.004	0.8%
	木・竹・わら類	剪定枝、草、花など	適正排出	1.47	4.0%	0.018	3.7%
	その他(可燃物)	上記以外の可燃物類(煙草の吸殻、髪の毛 ほか)	適正排出	2.78	7.7%	0.013	2.6%
不燃物系	プラスチック類	ペットボトル	再資源化可能	0.08	0.2%	0.003	0.6%
		容器包装類	再資源化可能	0.50	1.4%	0.076	15.8%
		(容器包装類のうちレジ袋)	—	(0.16)	(0.4%)	(0.039)	(8.0%)
		容器包装類(汚れたもの)	適正排出	1.56	4.3%	0.043	9.0%
		容器包装以外(市販ごみ袋)	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		容器包装以外(市指定ごみ袋)	適正排出	0.29	0.8%	0.048	9.9%
		容器包装以外(プラスチック製品)	異物	0.06	0.2%	0.001	0.2%
		容器包装以外(中身がプラスチック製品のクッション等)	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	金属類	空き缶類	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		鉄パイプなど金属類全般	異物	0.16	0.4%	0.003	0.6%
	処理困難物① (ガラス・陶磁器類)	ガラスびん	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		びん類以外のガラス類全般	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	処理困難物② (ガラス・陶磁器類を除く)	電池類、刃物、蛍光管、水銀温度計、体温計、灰、ビデオテープ、ライター、保冷剤、石灰系乾燥材、薬剤容器(洗剤、除草剤、殺虫剤)、ほか	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	その他(不燃物)	上記以外の不燃物類(シリカゲル系乾燥剤、カイロほか)	異物	0.02	0.1%	0.000	0.0%
調査ごみ合計				36.31	100.0%	0.484	100.0%

※端数処理の関係上、若干の誤差を含む

◆図表 1-9 ごみ組成調査結果（令和6年度実施）（熊毛地域⑤熊毛）

大分類	中分類	小分類	区分	重量		体積	
				(kg)	(%)	(m ³)	(%)
可燃物系	紙製容器包装	飲料紙製容器(リサイクル可能)	再資源化可能	0.33	1.1%	0.012	2.8%
		段ボール(リサイクル可能)	再資源化可能	0.70	2.3%	0.014	3.3%
		紙製容器包装(リサイクル可能)	再資源化可能	1.34	4.5%	0.049	11.8%
		飲料紙製容器(焼却対象)	適正排出	0.13	0.4%	0.004	0.9%
		紙製容器包装(焼却対象)※汚れた紙製容器包装	適正排出	0.11	0.4%	0.004	1.1%
	紙製容器包装以外の紙類	新聞・広告(リサイクル可能)	再資源化可能	0.86	2.9%	0.026	6.2%
		雑誌・本(リサイクル可能)	再資源化可能	0.57	1.9%	0.001	0.2%
		雑誌・み(リサイクル可能)	再資源化可能	0.71	2.4%	0.027	6.5%
		新聞・広告(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	0.70	2.3%	0.023	5.5%
		雑誌・み(焼却対象)※汚れているもの、感熱紙など	適正排出	3.87	12.9%	0.044	10.6%
	紙おむつ	紙おむつ	適正排出	0.26	0.9%	0.002	0.5%
	衣類	衣類(リサイクル可能)	再資源化可能	0.09	0.3%	0.003	0.7%
		衣類(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	布類	布類(焼却対象)	適正排出	0.16	0.5%	0.002	0.4%
	生ごみ	調理くず	削減可能	9.54	31.7%	0.026	6.4%
		手つかず食品	削減可能	3.96	13.2%	0.008	2.0%
		食べ残し	削減可能	0.81	2.7%	0.003	0.8%
	木・竹・わら類	剪定枝、草、花など	適正排出	1.24	4.1%	0.007	1.7%
	その他(可燃物)	上記以外の可燃物類(煙草の吸殻、髪の毛 ほか)	適正排出	3.08	10.2%	0.023	5.5%
不燃物系	プラスチック類	ペットボトル	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		容器包装類	再資源化可能	0.36	1.2%	0.056	13.5%
		(容器包装類のうちレジ袋)	—	(0.15)	(0.5%)	(0.032)	(7.6%)
		容器包装類(汚れたもの)	適正排出	0.85	2.8%	0.030	7.1%
		容器包装以外(市販ごみ袋)	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		容器包装以外(市指定ごみ袋)	適正排出	0.30	1.0%	0.051	12.2%
		容器包装以外(プラスチック製品)	異物	0.02	0.1%	0.001	0.2%
		容器包装以外(中身がプラスチック製品のクッション等)	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	金属類	空き缶類	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		鉄パイプなど金属類全般	異物	0.02	0.1%	0.001	0.1%
	処理困難物① (ガラス・陶磁器類)	ガラスびん	再資源化可能	0.00	0.0%	0.000	0.0%
		びん類以外のガラス類全般	異物	0.00	0.0%	0.000	0.0%
	処理困難物② (ガラス・陶磁器類を除く)	電池類、刃物、蛍光灯、水銀温度計、体温計、灰、ビデオテープ、ライター、保冷剤、石灰系乾燥材、薬剤容器(洗剤、除草剤、殺虫剤)、ほか	異物	0.03	0.1%	0.000	0.0%
	その他(不燃物)	上記以外の不燃物類(シリカゲル系乾燥剤、カイロほか)	異物	0.04	0.1%	0.000	0.0%
調査ごみ合計				30.08	100.0%	0.415	100.0%

※端数処理の関係上、若干の誤差を含む

◆図表 1-10 ごみ組成調査結果（令和6年度実施）（周南市全体※各調査対象検体の加重平均）

大分類	中分類	小分類	区分	重量	体積
				(%)	(%)
可燃物系	紙製容器包装	飲料紙製容器(リサイクル可能)	再資源化可能	0.4%	1.3%
		段ボール(リサイクル可能)	再資源化可能	0.9%	0.8%
		紙製容器包装(リサイクル可能)	再資源化可能	3.2%	8.1%
		飲料紙製容器(焼却対象)	適正排出	0.4%	1.0%
		紙製容器包装(焼却対象)※汚れた紙製容器包装	適正排出	1.2%	3.3%
	紙製容器包装以外の紙類	新聞・広告(リサイクル可能)	再資源化可能	5.6%	6.8%
		雑誌・本(リサイクル可能)	再資源化可能	1.0%	2.2%
		雑がみ(リサイクル可能)	再資源化可能	3.4%	5.6%
		新聞・広告(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	3.8%	8.1%
		雑がみ(焼却対象)※汚れているもの、感熱紙など	適正排出	12.5%	8.5%
	紙おむつ	紙おむつ	適正排出	9.8%	3.8%
	衣類	衣類(リサイクル可能)	再資源化可能	0.4%	0.4%
		衣類(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	1.6%	1.1%
	布類	布類(焼却対象)	適正排出	1.7%	1.7%
	生ごみ	調理くず	削減可能	24.5%	5.3%
		手つかず食品	削減可能	7.2%	1.8%
		食べ残し	削減可能	4.7%	0.9%
	木・竹・わら類	剪定枝、草、花など	適正排出	3.0%	2.2%
	その他(可燃物)	上記以外の可燃物類(煙草の吸殻、髪の毛 ほか)	適正排出	5.7%	2.6%
不燃物系	プラスチック類	ペットボトル	再資源化可能	0.2%	0.8%
		容器包装類	再資源化可能	1.8%	13.6%
		(容器包装類のうちレジ袋)	—	(0.6%)	(5.9%)
		容器包装類(汚れたもの)	適正排出	4.6%	8.5%
		容器包装以外(市販ごみ袋)	再資源化可能	0.0%	0.3%
		容器包装以外(市指定ごみ袋)	適正排出	0.9%	9.5%
		容器包装以外(プラスチック製品)	異物	0.7%	1.0%
		容器包装以外(中身がプラスチック製品のクッション等)	異物	0.0%	0.0%
	金属類	空き缶類	再資源化可能	0.1%	0.2%
		鉄パイプなど金属類全般	異物	0.3%	0.4%
	処理困難物① (ガラス・陶磁器類)	ガラスびん	再資源化可能	0.2%	0.0%
		びん類以外のガラス類全般	異物	0.0%	0.0%
	処理困難物② (ガラス・陶磁器類を除く)	電池類、刃物、蛍光管、水銀温度計、体温計、灰、ビデオテープ、ライター、保冷剤、石灰系乾燥材、薬剤容器(洗剤、除草剤、殺虫剤)、ほか	異物	0.1%	0.1%
	その他(不燃物)	上記以外の不燃物類(シリカゲル系乾燥剤、カイロほか)	異物	0.1%	0.1%
調査ごみ合計				100.0%	100.0%

※端数処理の関係上、若干の誤差を含む。

◆図表 1-11 ごみ組成調査結果（令和元年度実施）（周南市全体※各調査対象検体の加重平均）

大分類	中分類	小分類	区分	重量	体積
				(%)	(%)
可燃物系	紙製容器包装	飲料紙製容器(リサイクル可能)	再資源化可能	0.9%	1.4%
		段ボール(リサイクル可能)	再資源化可能	1.1%	1.2%
		紙製容器包装(リサイクル可能)	再資源化可能	1.4%	2.3%
		飲料紙製容器(焼却対象)	適正排出	0.6%	0.7%
		紙製容器包装(焼却対象)※汚れた紙製容器包装	適正排出	1.3%	2.2%
	紙製容器包装以外の紙類	新聞・広告(リサイクル可能)	再資源化可能	8.3%	11.4%
		雑誌・本(リサイクル可能)	再資源化可能	2.7%	0.7%
		雑がみ(リサイクル可能)	再資源化可能	3.2%	6.5%
		新聞・広告(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	6.7%	5.7%
		雑がみ(焼却対象)※汚れているもの、感熱紙など	適正排出	11.6%	13.9%
	紙おむつ	紙おむつ	適正排出	7.5%	2.4%
	衣類	衣類(リサイクル可能)	再資源化可能	1.3%	0.7%
		衣類(焼却対象)※汚れているもの	適正排出	4.4%	7.6%
	布類	布類(焼却対象)	適正排出	0.9%	0.9%
	生ごみ	調理くず・食べ残し	削減可能	22.7%	4.4%
		手つかず食品	削減可能	6.3%	0.9%
	木・竹・わら類	剪定枝、草、花など	適正排出	2.0%	0.6%
	その他(可燃物)	上記以外の可燃物類(煙草の吸殻、髪の毛 ほか)	適正排出	8.4%	3.4%
不燃物系	プラスチック類	ペットボトル	再資源化可能	0.1%	0.1%
		容器包装類	再資源化可能	1.6%	8.5%
		(容器包装類のうちレジ袋)	再資源化可能	(0.8%)	(6.2%)
		容器包装類(汚れたもの)	適正排出	3.1%	10.2%
		容器包装以外(市販ごみ袋・市指定ごみ袋)	再資源化可能	1.9%	12.8%
		容器包装以外(その他)	異物	0.9%	1.3%
	金属類	空き缶類	再資源化可能	0.3%	0.0%
		鉄パイプなど金属類全般	異物	0.0%	0.0%
	処理困難物① (ガラス・陶磁器類)	ガラスびん	再資源化可能	0.3%	0.0%
		びん類以外のガラス類全般	異物	0.0%	0.0%
	処理困難物② (ガラス・陶磁器類を除く)	電池類、刃物、蛍光灯、水銀温度計、体温計、灰、ビデオテープ、ライター、保冷剤、石灰系乾燥材、薬剤容器(洗剤、除草剤、殺虫剤)、ほか	異物	0.2%	0.0%
	その他(不燃物)	上記以外の不燃物類(シリカゲル系乾燥剤、カイロほか)	異物	0.3%	0.2%
調査ごみ合計				100.0%	100.0%

※端数処理の関係上、若干の誤差を含みます。

※令和元年度ごみ組成調査から令和6年度ごみ組成調査での変更点

- ・「調理くず」、「食べ残し」の区分を別の区分とした。
- ・「市販ごみ袋」、「市指定ごみ袋」の区分を別の区分とした。
- ・「容器包装以外(その他)」の区分を、「容器包装以外(プラスチック製品)」と「容器包装以外(中身がプラスチック製品のクッション等)」に細分化した。

資料2 市民アンケート

1 市民アンケートの目的

本計画策定における基礎資料とするため、市民の皆さんのごみに対する意識などを伺い、市民の皆さんの取り組みを支援する対策の強化に向けて、次のとおり市民アンケートを実施しました。

2 対象・方法

市内にお住まいの18歳以上の方の中から、2,655人を無作為に抽出し、無記名による調査を実施しました。調査票は郵送により送付・回収しました。

3 実施期間

令和6年7月3日発送 ～ 令和6年7月31日受付〆切（消印有効）

4 調査内容

市民アンケートの内容を、図表2-1のとおり示します。

5 回答回収数

送付数：2,655件

回答者数：1,165人

回答率：43.9%

6 回答集計結果

市民アンケートの回答集計結果を、図表2-2のとおり示します。

◆図表 2-1 (1) 市民アンケートの調査票 (1/4 ページ目)

市民アンケート調査票

問1 あなたご自身のことについておたずねします。

(1) あなたの年齢を教えてください。《1つに☑》

☐ 10 歳代 ☐ 20 歳代 ☐ 30 歳代 ☐ 40 歳代 ☐ 50 歳代 ☐ 60 歳代 ☐ 70 歳代 ☐ 80 歳代～

(2) あなたの性別を教えてください。《1つに☑》

☐ 男性 ☐ 女性

(3) あなたのお住まいの地域を教えてください。《1つに☑》

☐ 徳山地域 ☐ 新南陽地域 ☐ 熊毛地域 ☐ 鹿野地域 ☐ 地域区分がわからない

問2 ごみに関する情報(ごみの分別や減量・リサイクル)との関わりをおたずねします。

(4) ごみに関する情報について、ふだんの生活で意識していますか？《1つに☑》

☐ よく意識している ☐ たまに意識している ☐ あまり意識していない
☐ 全く意識していない ☐ わからない

(5) 市が提供するごみに関する情報を、どのようにして入手していますか？《当てはまるもの全てに☑》

☐ ごみカレンダー ☐ ごみ分別方法冊子 ☐ ごみ分別アプリ ☐ 市広報 ☐ 市ホームページ
☐ 近所の方に尋ねる ☐ 市役所に問い合わせる ☐ 市の情報は入手していない
☐ その他()

(6) ごみに関する情報について、市からの情報提供に満足していますか？《1つに☑》

☐ 満足している ☐ どちらかといえば満足している ☐ どちらかといえば不満がある
☐ 不満がある ☐ わからない

問3 燃やせるごみの減量化に関する取り組みについておたずねします。

◎生ごみの水切りについて

※生ごみの約 8 割は水分です。生ごみの水分をしっかりと切り乾かせば、ごみの減量につながります。
(方法としては、「野菜くずを新聞紙の上に置いて乾かす」、「お茶がらは水気をしぼる」、「ごみ袋に入れる前にしぼって水分を出す」などがあります。)

(7) 生ごみの水切りをしていますか？《1つに☑》

☐ よくしている ☐ たまにしている ☐ あまりしていない ☐ 全くしていない ☐ わからない

◆図表 2-1 (2) 市民アンケートの調査票 (2/4 ページ目)

(市記入欄)

◎食品ロスの削減について

※食品ロスとは、「食べ残し」や、「手つかず食品」(買ったもらったりしたが食べきれなかった食品)など、本来食べられるのに廃棄された食品のことです。日本の食品ロスは年間 500 万トンを超えており、これは全国民が毎日おにぎり 1 個分の食品を捨て続けるといった量に相当します。

(8)食品ロスの問題について、ふだんの生活で意識していますか？《1つに☑》

☐よく意識している ☐たまに意識している ☐あまり意識していない
☐全く意識していない ☐わからない

(9)「手つかず食品」をごみとして出すことはありますか？《1つに☑》

☐よくある ☐たまにある ☐あまりない ☐全くない ☐わからない

(10)「手つかず食品」をごみとして出したことのある方への質問です。出したことがある「手つかず食品」はどのようなものですか？《当てはまるもの全てに☑》

☐野菜・果物 ☐保存食品(冷凍食品・缶詰) ☐豆腐・納豆 ☐肉・魚 ☐主食(米・パン・麺類)
☐お菓子類 ☐おかず・弁当類 ☐調味料 ☐その他()

(11)「手つかず食品」をごみとして出したことのある方への質問です。「手つかず食品」を出してしまった理由は何ですか？《当てはまるもの全てに☑》

☐消費期限が過ぎた ☐賞味期限が過ぎた ☐見た目が変と感じた ☐においが気になった
☐食べる機会がなかった ☐人からもらったが食べなかった ☐買いすぎて余った
☐わからない ☐その他()

(12)「食べ残し」や「手つかず食品」を出さないために行っていることはありますか？《当てはまるもの全てに☑》

☐飲食店では食べきれる量を注文 ☐出された料理は食べきる ☐料理をつくりすぎない
☐期限の近い食品から食べる ☐食品は必要な分だけ買う ☐フードドライブ(余っている食品を福祉施設等に寄付) ☐特に何もしていない ☐その他()

◎生ごみ処理機器の使用について

(13)生ごみ処理機器を使用したことがありますか？《1つに☑》

☐ある ☐ない

(14)生ごみ処理機器を使用したことのある方への質問です。どのような生ごみ処理機器を使用しましたか？《当てはまるもの全てに☑》

☐電気式生ごみ処理機 ☐コンポスト(土の上に設置するもの) ☐コンポスト(バケツ型)
☐ダンボールコンポスト ☐コンポストバック ☐その他()

◎雑がみの取り扱いについて … 雑がみ(紙箱や包装紙など)は、資源物(古紙)です。

(15)燃やせるごみとして出している雑がみがあれば選択してください。《当てはまるもの全てに☑》

☐食品の箱 ☐贈答品の箱 ☐封筒 ☐ティッシュの箱 ☐ラップの芯
☐トイレトペーパーの芯 ☐包装紙 ☐その他()

裏面に続きます

◆図表 2-1 (3) 市民アンケートの調査票 (3/4 ページ目)

(16) 雑がみを燃やせるごみとして出している方への質問です。分別していない理由は何ですか？《当てはまるもの全てに☑》

- ☐ 雑がみは「古紙」という認識がなかった ☐ 分別するのが面倒 ☐ 箱類をたたむのが面倒
☐ 小さなものをひもで束ねることが面倒 ☐ わからない ☐ その他()

問4 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に関する取り組みについておたずねします。

◎リデュース(発生抑制)について … リデュースとは、ごみになりそうなものを減らすこと。

(17) ふだんの生活でリデュースに取り組んでいることはありますか？《当てはまるもの全てに☑》

- ☐ マイバッグ・マイボトルを使う ☐ 過剰包装を断る ☐ 詰め替え商品を選ぶ
☐ 使用量に見合った購入量とする ☐ 繰り返し使える商品を選ぶ
☐ 使用頻度が低いものはレンタルする
☐ その他()

◎リユース(再使用)について … リユースとは、使える物は繰り返し使うこと。

(18) ふだんの生活でリユースに取り組んでいることはありますか？《当てはまるもの全てに☑》

- ☐ 分別を行い、資源物(衣類など)を分けて出す ☐ リサイクルショップの利用
☐ フリマアプリの利用 ☐ バザーやフリマへの参加 ☐ 知り合い同士で譲り合う
☐ 繰り返し使える容器に入った商品を選ぶ
☐ その他()

◎リサイクル(再生利用)について … リサイクルとは、ごみを資源として再び利用すること。

(19) ふだんの生活でリサイクルに取り組んでいることはありますか？《当てはまるもの全てに☑》

- ☐ 分別を行い、資源物(古紙、びん・缶類、ペットボトル、容器包装プラスチックなど)を分けて出す
☐ 汚れたプラスチック製容器包装(食品の容器など)は、どうしても汚れが落ちないものは燃やせるごみとするが、基本的には汚れを落とし「容器包装プラスチック」として出す
☐ 再生品(コピー用紙・トイレtpーパーなど)を選ぶ
☐ その他()

◎資源物の出し方について

(20) 資源物(古紙・衣類、びん・缶類、ペットボトル、容器包装プラスチック、その他プラスチック)をどこに出していますか？《当てはまるもの全てに☑》

- ☐ 市のごみステーション ☐ 市の施設(リサイクルプラザ) ☐ 地域の資源物団体回収
☐ スーパーマーケット等の店頭回収 ☐ 民間の資源回収ステーション
☐ リサイクルショップ ☐ フリマアプリ ☐ その他()

◆図表 2-1 (4) 市民アンケートの調査票 (4/4 ページ目)

(市記入欄)

問5 今後のごみ対策についておたずねします。

(21) 今後、ごみの分別や減量・リサイクルのために、市は何を優先的に実施すべきだと思いますか？

《当てはまるものに**2つ**まで☑》

- ☐ ごみのカレンダー・分別冊子の内容充実 ☐ ごみのカレンダー、ごみの分別情報の発信強化
☐ 家庭で取り組めるごみ減量方法の周知 ☐ 3Rに関する啓発 ☐ 食品ロスに関する啓発
☐ 資源物回収方法の周知(民間による取り組みのお知らせ)
☐ 不要品交換イベント ☐ ごみ対策に関する環境教育 ☐ 高齢者等のごみ出し支援

(22) これまでは取り組んでいなかったが、今後、ごみの分別や減量・リサイクルのために、あなたが取り組みたいと思うことは何ですか？《当てはまるもの**全て**に☑》

- ☐ 生ごみの水切りを行う ☐ 生ごみ処理機器の使用
☐ 飲食店では食べきれぬ量を注文 ☐ 出された料理は食べきる ☐ 料理をつくりすぎない
☐ 期限の近い食品から食べる ☐ 食品は必要量を買う ☐ フードドライブへの参加(食品の寄付)
☐ マイバッグ・マイボトルを使う ☐ 過剰包装を断る ☐ 詰め替え商品を選ぶ
☐ 使用量に見合った購入量とする ☐ 繰り返し使える商品を選ぶ
☐ 使用頻度が低いものはレンタルする ☐ リサイクルショップの利用
☐ フリマアプリの利用 ☐ バザーやフリマへの参加 ☐ 知り合い同士で譲り合う
☐ 繰り返し使える容器に入った商品を選ぶ ☐ 再生品(コピー用紙・トイレットペーパーなど)を選ぶ
☐ ごみの分別をしっかりと行い、資源物をリユース・リサイクルする ☐ 特に何もしない

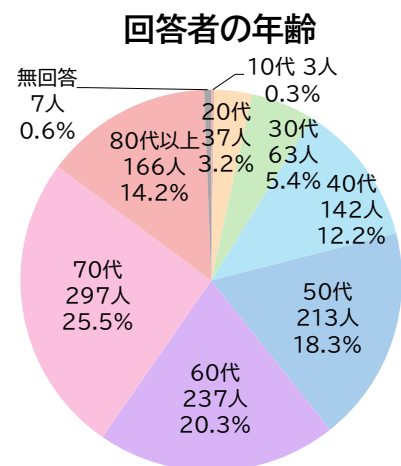
問6 ごみの分別や減量・リサイクルのためのご意見を自由に記入してください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

◆図表 2-2 (1) 市民アンケートの回答集計結果

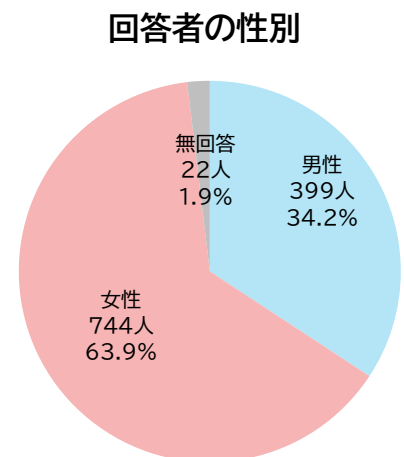
問1(1) あなたの年齢を教えてください。	回答数	割合
10代	3人	0.3%
20代	37人	3.2%
30代	63人	5.4%
40代	142人	12.2%
50代	213人	18.3%
60代	237人	20.3%
70代	297人	25.5%
80代以上	166人	14.3%
無回答	7人	0.6%
合 計	1,165人	100%

回答者の年代は、10代から30代は10%未満であるのに対して、特に60代、70代はそれぞれ20%を超える割合となりました。80代以上を除くと、年齢層が上がるにつれ、回答者数が増える傾向にあります。



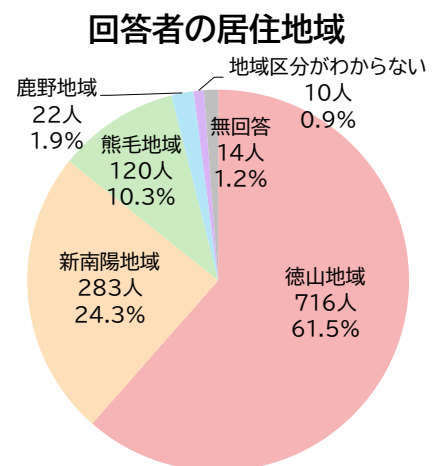
問1(2) あなたの性別を教えてください。	回答数	割合
男性	399人	34.3%
女性	744人	63.9%
無回答	22人	1.9%
合 計	1,165人	100%

回答者の性別の割合は、女性が63.9%、男性が34.2%となっており、女性の回答者数が多い傾向となっています。



問1(3) あなたのお住まいの地域を教えてください。	回答数	割合
徳山地域	716人	61.5%
新南陽地域	283人	24.3%
熊毛地域	120人	10.3%
鹿野地域	22人	1.9%
地域区分がわからない	10人	0.9%
無回答	14人	1.2%
合 計	1,165人	100%

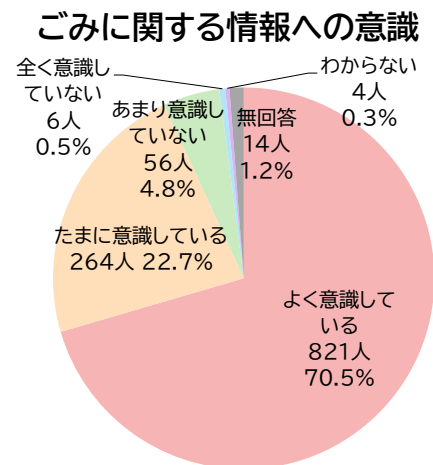
回答者の居住地域は、徳山地域が最も多く6割を超えており、次いで新南陽地域、熊毛地域、鹿野地域となっています。



◆図表 2-2 (2) 市民アンケートの回答集計結果

問2(4) ごみに関する情報について、ふだんの生活で意識していますか？	回答数	割合
よく意識している	821人	70.5%
たまに意識している	264人	22.7%
あまり意識していない	56人	4.8%
全く意識していない	6人	0.5%
わからない	4人	0.3%
無回答	14人	1.2%
合 計	1,165人	100%

9割以上の回答者がごみに関する情報について「よく意識している」「たまに意識している」と回答しており、ごみに対する意識の高さがうかがえる結果となりました。

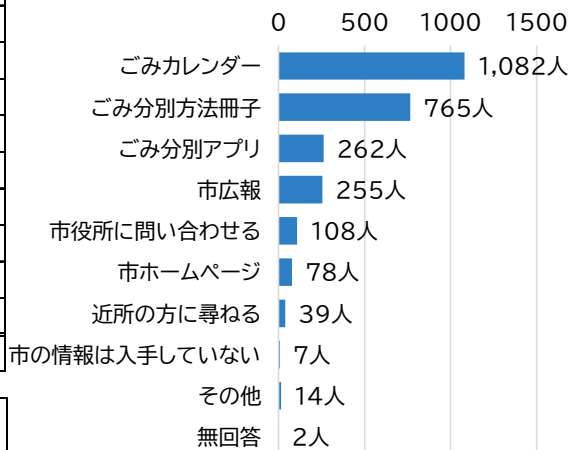


問2(5) 市が提供するごみに関する情報を、どのようにして入手していますか？	回答数	割合※
ごみカレンダー	1,082人	92.9%
ごみ分別方法冊子	765人	65.7%
ごみ分別アプリ	262人	22.5%
市広報	255人	21.9%
市役所に問い合わせる	108人	9.3%
市ホームページ	78人	6.7%
近所の方に尋ねる	39人	3.4%
その他	14人	1.2%
市の情報は入手していない	7人	0.6%
無回答	2人	0.2%
合 計	2,612人	—

※全回答数1,165人に対する回答数の割合です。

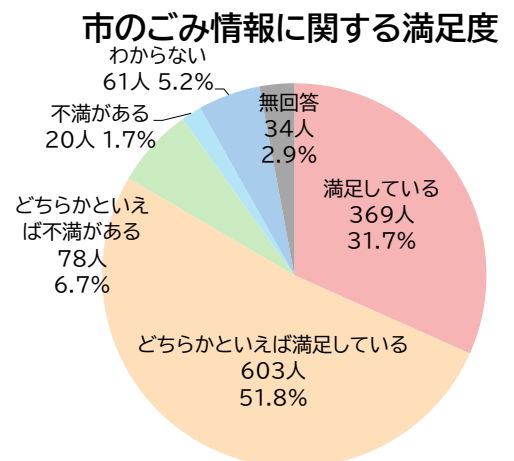
ごみに関する情報の入手先について回答者のうち9割以上が「ごみカレンダー」、6割以上が「ごみ分別冊子」と回答していることから、ごみに関する意識啓発として、これらの媒体を活用することが特に効果的であることがわかりました。

ごみに関する情報の入手方法 (人)



問2(6) ごみに関する情報について、市からの情報提供に満足していますか？	回答数	割合
満足している	369人	31.7%
どちらかといえば満足している	603人	51.8%
どちらかといえば不満がある	78人	6.7%
不満がある	20人	1.7%
わからない	61人	5.2%
無回答	34人	2.9%
合 計	1,165人	100%

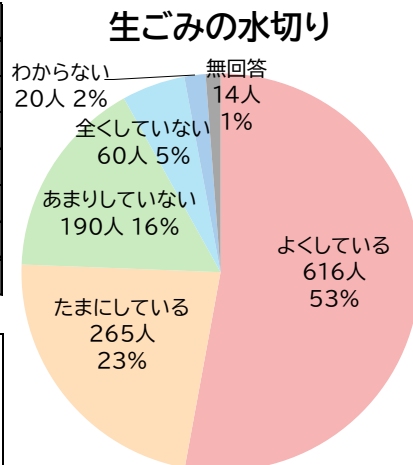
市からのごみに関する情報提供に「満足している」「どちらかといえば満足している」回答者は8割以上でした。1割未満の回答者は不満を抱えていることから、引き続き丁寧な情報提供を行っていきます。



◆図表 2-2 (3) 市民アンケートの回答集計結果

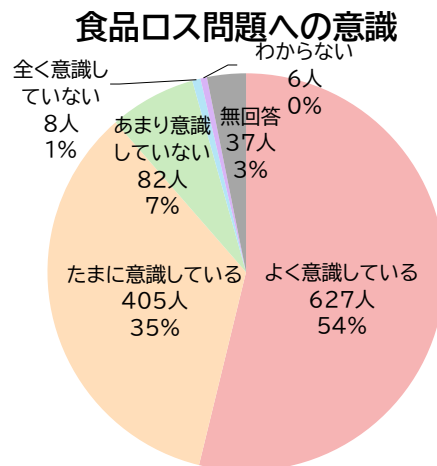
問3(7) 生ごみの水切りをしていますか？	回答数	割合
よくしている	616人	52.9%
たまにしている	265人	22.8%
あまりしていない	190人	16.3%
全くしていない	60人	5.2%
わからない	20人	1.7%
無回答	14人	1.2%
合 計	1,165人	100%

生ごみの水切りを「よくしている」「たまにしている」回答者はおよそ7割で、「あまりしていない」回答者も少なくないことから、生ごみの水切りを日常的に実施してもらえるよう、意識啓発を行うことが必要であることがわかりました。



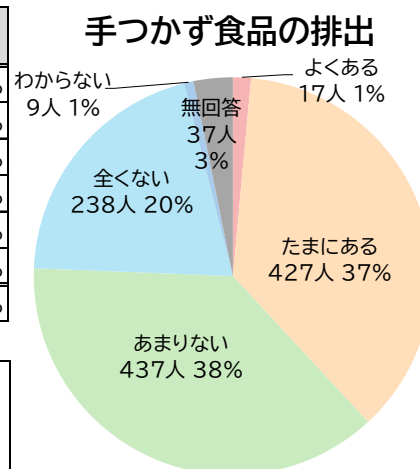
問3(8) 食品ロスの問題について、ふだんの生活で意識していますか？	回答数	割合
よく意識している	627人	53.8%
たまに意識している	405人	34.8%
あまり意識していない	82人	7.0%
全く意識していない	8人	0.7%
わからない	6人	0.5%
無回答	37人	3.2%
合 計	1,165人	100%

食品ロスについて意識している回答者の割合は、8割以上と、高い割合となりました。引き続き食品ロスについて意識してもらえるよう、食品ロスに関する情報発信を行っていきます。



問3(9) 「手つかず食品」をごみとして出すことはありますか？	回答数	割合
よくある	17人	1.5%
たまにある	427人	36.7%
あまりない	437人	37.5%
全くない	238人	20.4%
わからない	9人	0.8%
無回答	37人	3.2%
合 計	1,165人	100%

手つかず食品をごみとして出すことが「全くない」回答者は2割であり、低い割合となりました。「よくある」「たまにある」回答者も3人に1人以上と多い状況であることから、さらなる意識啓発が重要であることがわかりました。

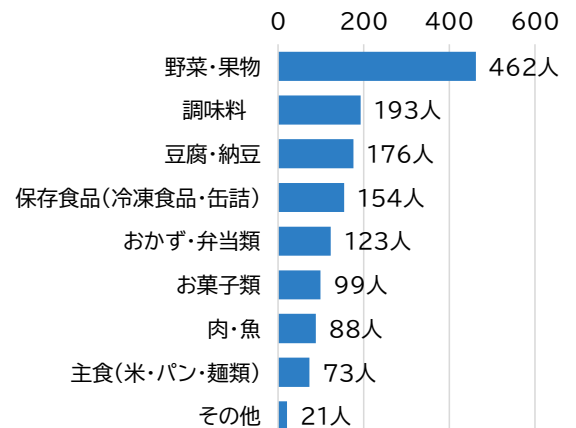


◆図表 2-2 (4) 市民アンケートの回答集計結果

問3(10)「手つかず食品」をごみとして出したことのある方への質問です。出したことがある「手つかず食品」はどのようなものですか？	回答数	割合※
野菜・果物	462人	52.4%
調味料	193人	21.9%
豆腐・納豆	176人	20.0%
保存食品(冷凍食品・缶詰)	154人	17.5%
おかず・弁当類	123人	14.0%
お菓子類	99人	11.2%
肉・魚	88人	10.0%
主食(米・パン・麺類)	73人	8.3%
その他	21人	2.4%
合 計	1,389人	—

※問3(9)で「よくある」「たまにある」「あまりない」と回答した881人に対する回答数の割合です。

排出した手つかず食品の種類 (人)

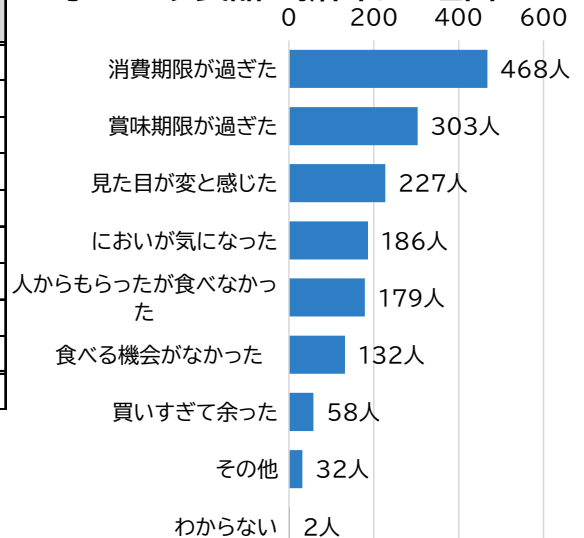


手つかず食品を排出したことのある回答者のうち、2人に1人以上は「野菜・果物」を排出したことがあると回答しています。野菜・果物は傷みやすいことから、野菜・果物の長持ちさせることのできる正しい保管方法のほか、購入をする際には消費可能な量を意識して購入するなどの意識啓発を行うことが、手つかず食品の廃棄を減らすため効果的であると考えられます。

問3(11)「手つかず食品」をごみとして出したことのある方への質問です。「手つかず食品」を出してしまった理由は何ですか？	回答数	割合※
消費期限が過ぎた	468人	53.1%
賞味期限が過ぎた	303人	34.4%
見た目が変と感じた	227人	25.8%
においが気になった	186人	21.1%
人からもらったが食べなかった	179人	20.3%
食べる機会がなかった	132人	15.0%
買いすぎて余った	58人	6.6%
わからない	2人	0.2%
その他	32人	3.6%
合 計	1,587人	—

※問3(9)で「よくある」「たまにある」「あまりない」と回答した881人に対する回答数の割合です。

手つかず食品を排出した理由 (人)



手つかず食品を排出したことのある回答者のうち2人に1人以上は、その理由として「消費期限が過ぎた」と回答しており、3人に1人以上は「賞味期限が過ぎた」と回答しています。消費期限と賞味期限の違いやその意味について情報発信するほか、期限内に消費するよう意識啓発を行うことは、手つかず食品の廃棄を減らすため効果的であると考えられます。

◆図表 2-2 (5) 市民アンケートの回答集計結果

問3(12)「食べ残し」や「手つかず食品」を出さないために行っていることはありますか？	回答数	割合※
期限の近い食品から食べる	742人	63.7%
食品は必要な分だけ買う	563人	48.3%
飲食店では食べきれぬ量を注文	542人	46.5%
出された料理は食べきる	511人	43.9%
料理をつくりすぎない	467人	40.1%
特に何もしていない	40人	3.4%
フードドライブ(余っている食品を福祉施設等に寄付)	34人	2.9%
その他	25人	2.2%
無回答	47人	4.0%
合 計	2,971人	—

※全回答数1,165人に対する回答数の割合です。

食べ残しや手つかず食品を排出しないための行動として、ほとんどの設問において半数近くの回答者が実施していることがわかりました。一方で、「特に何もしていない」回答者もいることから、継続的な意識啓発が必要です。

問3(13) 生ごみ処理機器を使用したことがありますか？	回答数	割合
ある	179人	15.4%
ない	948人	81.4%
無回答	38人	3.3%
合 計	1,165人	100%

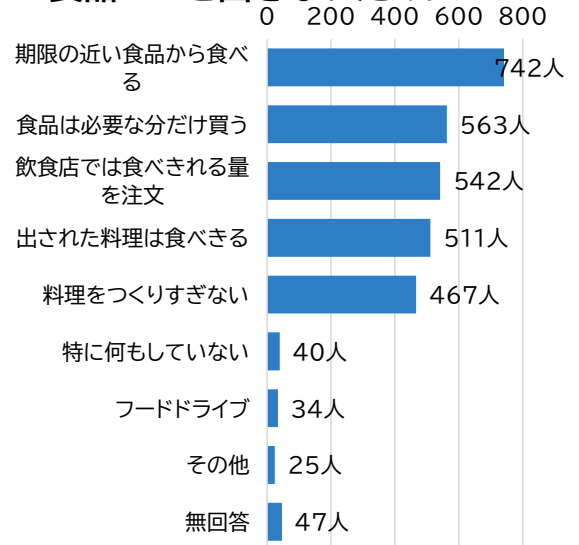
生ごみ処理機器を使用したことのない回答者は8割以上となりました。生ごみ処理機器購入費補助や、生ごみ処理機器の使用によるメリットなど、さらなる情報発信を行うことが重要です。

問3(14) 生ごみ処理機器を使用したことのある方への質問です。どのような生ごみ処理機器を使用しましたか？	回答数	割合※
コンポスト(土の上に設置するもの)	110人	61.5%
電気式生ごみ処理機	61人	34.1%
コンポスト(バケツ型)	25人	14.0%
ダンボールコンポスト	9人	5.0%
コンポストバック	2人	1.1%
その他	3人	1.7%
合 計	210人	—

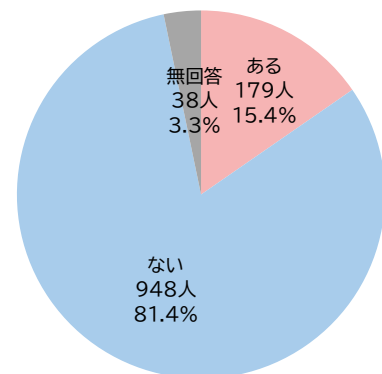
※問3(13)で「ある」と回答した179人に対する回答数の割合です。

使用されたことのある生ごみ処理機器は、「コンポスト(土の上に設置するもの)」が最も多くの割合を占めています。このことから、畑や庭などの土が身近にあり、堆肥の利用機会のある人が主に生ごみ処理機器を使用していると考えられます。

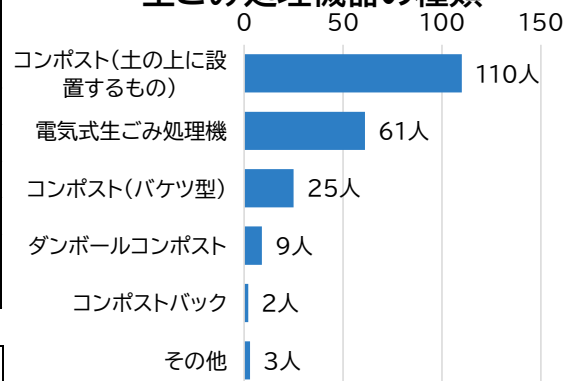
食品ロスを出不さないために (人)



生ごみ処理機器を使用したことは？



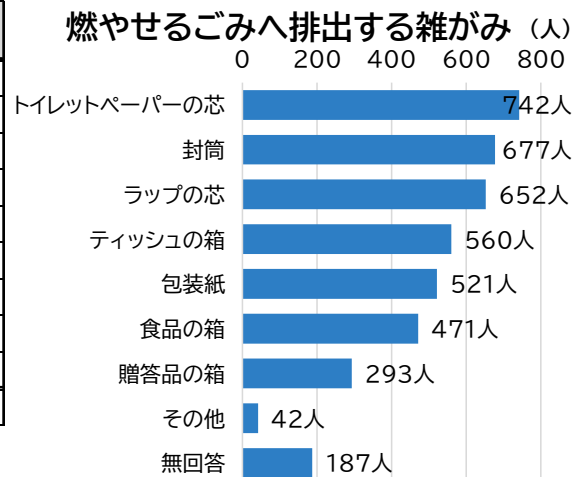
生ごみ処理機器の種類 (人)



◆図表 2-2 (6) 市民アンケートの回答集計結果

問3(15) 燃やせるごみとして出している雑がみがあれば選択してください。	回答数	割合※
トイレトペーパーの芯	742人	63.7%
封筒	677人	58.1%
ラップの芯	652人	56.0%
ティッシュの箱	560人	48.1%
包装紙	521人	44.7%
食品の箱	471人	40.4%
贈答品の箱	293人	25.2%
その他	42人	3.6%
無回答	187人	16.1%
合 計	4,145人	—

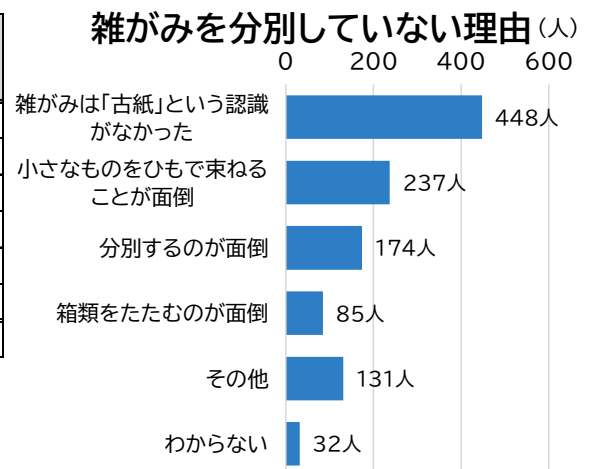
※全回答数1,165人に対する回答数の割合です。



雑がみのうち、排出頻度の少ない「贈答品の箱」を除いて、全ての項目でおよそ半数の回答者が雑紙を燃やせるごみとして排出していると回答しています。これらの雑がみは匂いや汚れが無ければすべて資源化可能であり、燃やせるごみではありません。資源化率の向上のため、雑がみに該当する細かい品目について、周知徹底することが重要であることがわかりました。

問3(16) 雑がみを燃やせるごみとして出している方への質問です。分別していない理由は何ですか？	回答数	割合※
雑がみは「古紙」という認識がなかった	448人	38.5%
小さなものをひもで束ねることが面倒	237人	20.3%
分別するのが面倒	174人	14.9%
箱類をたたむのが面倒	85人	7.3%
わからない	32人	2.8%
その他	131人	11.2%
合 計	1,107人	—

※全回答数1,165人に対する回答数の割合です。

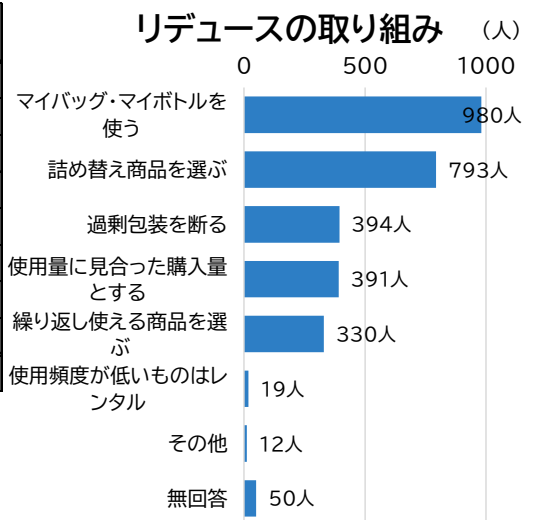


雑がみが古紙であるとの認識がない回答者のほか、分別排出方法の点で面倒であることから、燃やせるごみへ排出している回答者も見受けられました。小さな雑がみなどは、紙袋に入れてひもでしばって排出するほか、雑誌などに挟んでひもでしばって排出する方法があります。これらの分別排出方法や、雑がみを古紙として排出することで燃やせるごみを減量できるメリットなどを周知徹底することは、意識啓発として効果的であると考えられます。

◆図表 2-2 (7) 市民アンケートの回答集計結果

問4(17) ふだんの生活でリデュースに取り組んでいることはありますか？	回答数	割合※
マイバッグ・マイボトルを使う	980人	84.1%
詰め替え商品を選ぶ	793人	68.1%
過剰包装を断る	394人	33.8%
使用量に見合った購入量とする	391人	33.6%
繰り返し使える商品を選ぶ	330人	28.3%
使用頻度が低いものはレンタルする	19人	1.6%
その他	12人	1.0%
無回答	50人	4.3%
合 計	2,969人	—

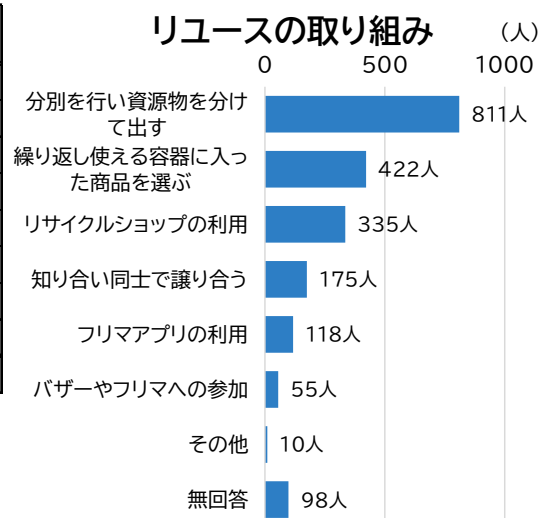
※全回答数1,165人に対する回答数の割合です。



リデュースの取り組みとして「マイバッグ・マイボトルを使う」ほか、「詰め替え商品を選ぶ」回答者が多い結果となりました。一方で「使用頻度が低いものはレンタルする」回答者は少ない結果となりました。よって、費用的なメリット・デメリットも考慮したうえでのレンタルの検討が必要であると情報発信を行うことは、リデュースの取り組みとして効果的であると考えられます。

問4(18) ふだんの生活でリユースに取り組んでいることはありますか？	回答数	割合※
分別を行い、資源物(衣類など)を分けて出す	811人	69.6%
繰り返し使える容器に入った商品を選ぶ	422人	36.2%
リサイクルショップの利用	335人	28.8%
知り合い同士で譲り合う	175人	15.0%
フリマアプリの利用	118人	10.1%
バザーやフリマへの参加	55人	4.7%
その他	10人	0.9%
無回答	98人	8.4%
合 計	2,024人	—

※全回答数1,165人に対する回答数の割合です。

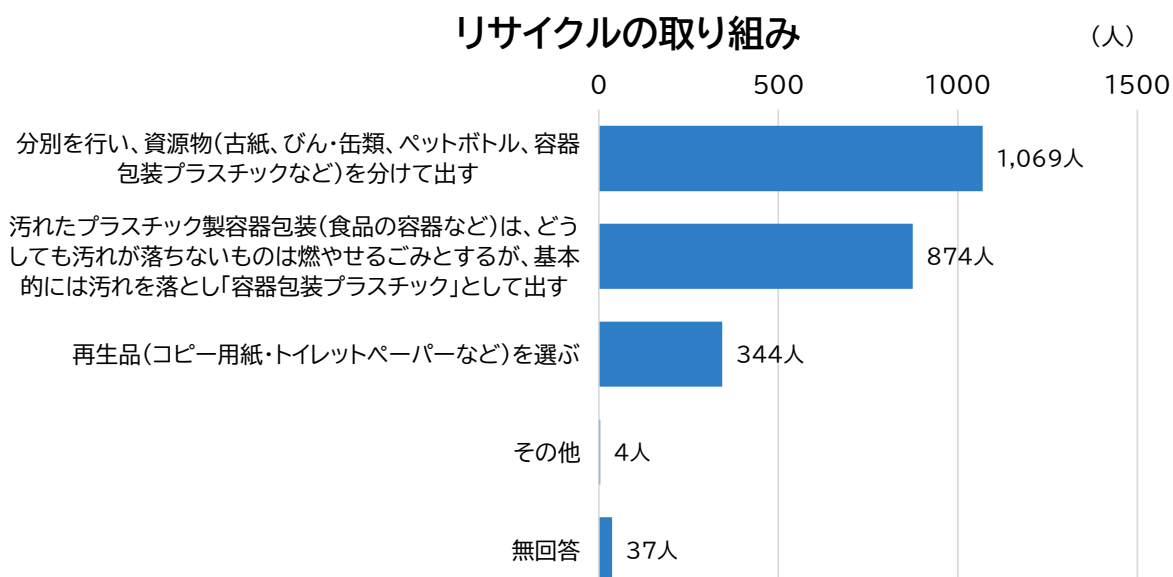


リユースの取り組みとして「分別を行い資源物を分けて出す」回答者が多い結果となりました。その他のリユースの取り組みについては、「知り合い同士で譲り合う」「フリマアプリの利用」「バザーやフリマへの参加」等の回答者が少ない傾向にあり、これらはリユース品の利用方法としてハードルが高いものと思われます。環境館では、リユース品の無料リユースコーナーを設けており、定期的に抽選会を実施しています。市民の皆さんに気軽に利用いただけるよう、この取り組みについて広く周知を行うことが、リユース品の更なる循環のために効果的であると考えられます。

◆図表 2-2 (8) 市民アンケートの回答集計結果

問4(19) ふだんの生活でリサイクルに取り組んでいることはありますか？	回答数	割合※
分別を行い、資源物(古紙、びん・缶類、ペットボトル、容器包装プラスチックなど)を分けて出す	1,069人	91.8%
汚れたプラスチック製容器包装(食品の容器など)は、どうしても汚れが落ちないものは燃やせるごみとするが、基本的には汚れを落とし「容器包装プラスチック」として出す	874人	75.0%
再生品(コピー用紙・トイレトペーパーなど)を選ぶ	344人	29.5%
その他	4人	0.3%
無回答	37人	3.2%
合 計	2,328人	—

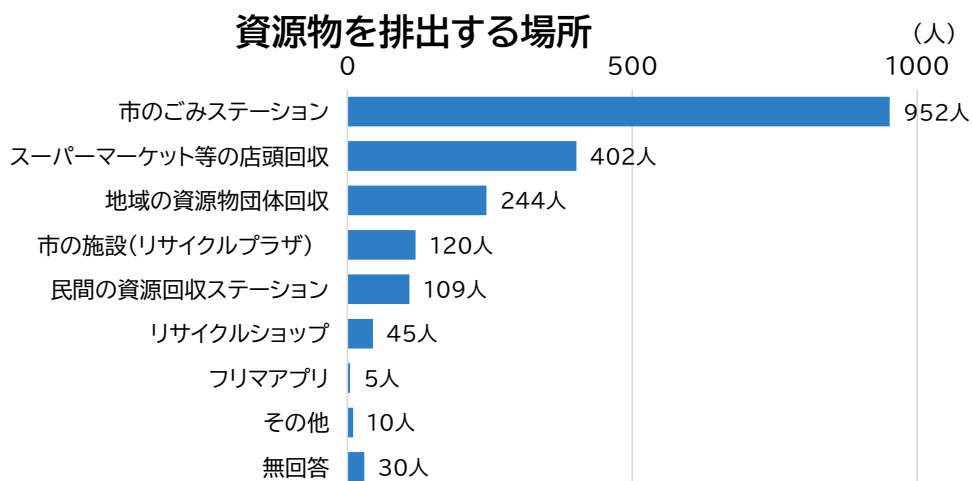
※全回答数1,165人に対する回答数の割合です。



リサイクルの取り組みとして、「分別を行い、資源物を分けて出す」「汚れたプラスチック製容器包装は、どうしても汚れが落ちないものは燃やせるごみとするが、基本的には汚れを落とし容器包装プラスチックとして出す」と回答した回答者はとても多い結果となりました。一方で、「再製品を選ぶ」回答者は少なく、再製品の積極的な利用について、さらなる意識啓発が重要であることがわかりました。

◆図表 2-2 (9) 市民アンケートの回答集計結果

問4(20) 資源物(古紙・衣類、びん・缶類、ペットボトル、容器包装プラスチック、その他プラスチック)をどこに出していますか？	回答数	割合※
市のごみステーション	952人	81.7%
スーパーマーケット等の店頭回収	402人	34.5%
地域の資源物団体回収	244人	20.9%
市の施設(リサイクルプラザ)	120人	10.3%
民間の資源回収ステーション	109人	9.4%
リサイクルショップ	45人	3.9%
フリマアプリ	5人	0.4%
その他	10人	0.9%
無回答	30人	2.6%
合 計	1,917人	—

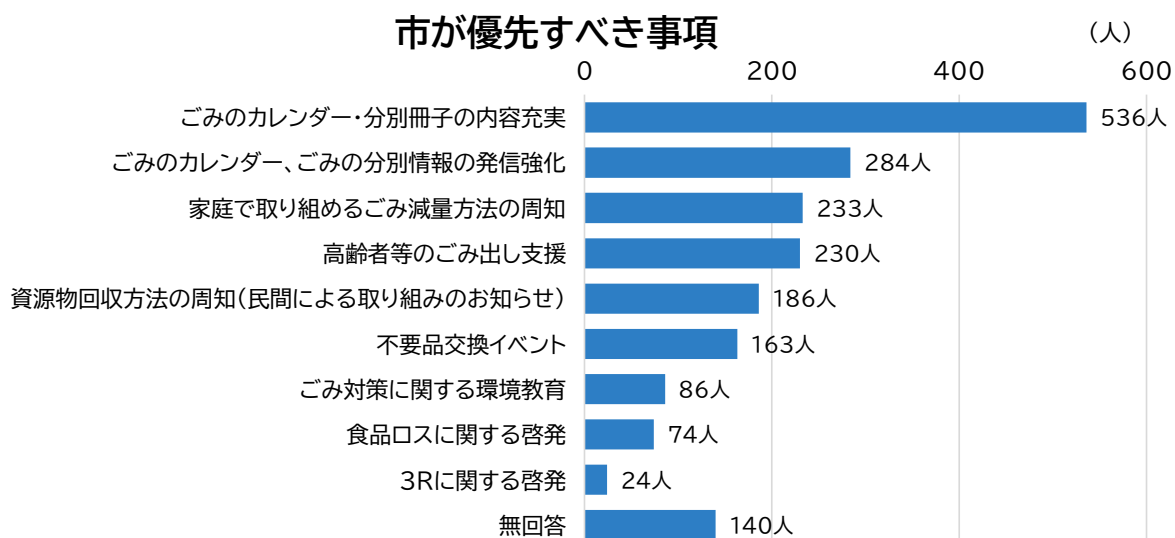


資源物は市のごみステーションへ排出すると回答した回答者がとても多い結果となりました。次いで、「スーパーマーケットの店頭回収」、「地域の資源物団体回収」と回答した回答者も多く、様々な排出方法が選択されていることがわかります。本市では引き続き収集運搬体制を適切に維持していくとともに、資源物回収報奨金交付制度の周知徹底を図ります。

◆図表 2-2 (10) 市民アンケートの回答集計結果

問5(21) 今後、ごみの分別や減量・リサイクルのために、市は何を優先的に実施すべきだと思いますか？	回答数	割合※
ごみのカレンダー・分別冊子の内容充実	536人	46.0%
ごみのカレンダー、ごみの分別情報の発信強化	284人	24.4%
家庭で取り組めるごみ減量方法の周知	233人	20.0%
高齢者等のごみ出し支援	230人	19.7%
資源物回収方法の周知(民間による取り組みのお知らせ)	186人	16.0%
不要品交換イベント	163人	14.0%
ごみ対策に関する環境教育	86人	7.4%
食品ロスに関する啓発	74人	6.4%
3Rに関する啓発	24人	2.1%
無回答	140人	12.0%
合 計	1,956人	—

※全回答数1,165人に対する回答数の割合です。

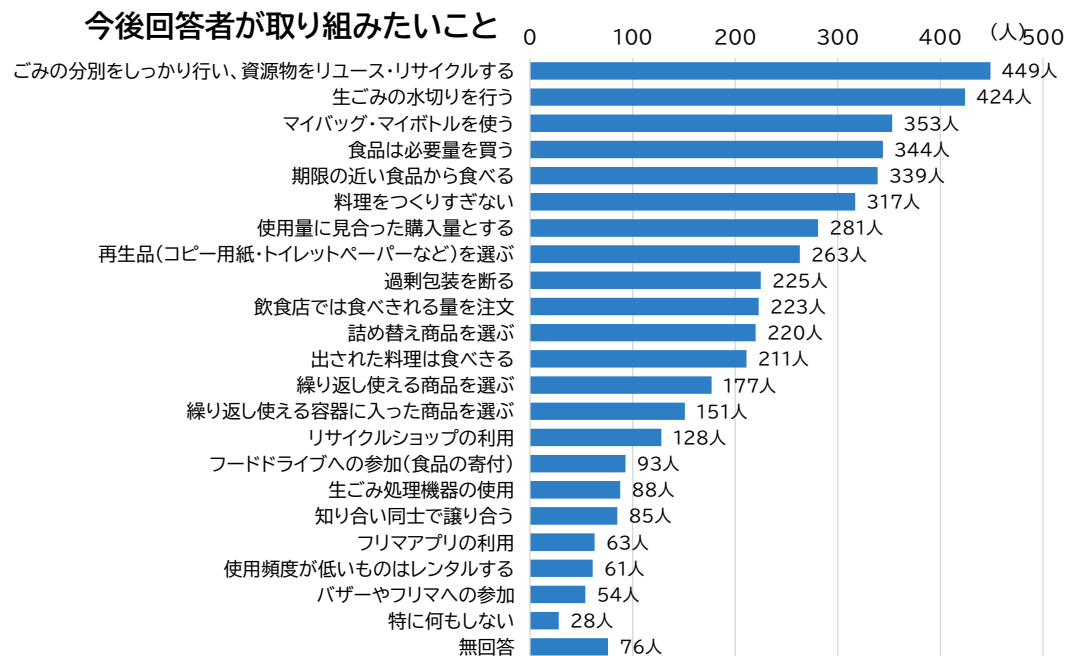


市が優先すべき事項として、ごみのカレンダー・分別冊子の内容充実や、分別情報の発信強化を求める声が多いことがわかりました。これらは問2(5)のごみに関する情報の入手先の回答結果と同様の傾向を示しており、ごみに関する意識啓発として、これらの媒体を活用することが特に効果的であることがわかりました。また他の項目についても、市民の皆さんの意見として、本市の今後の取り組みの参考として活用し、実施していくものとします。

◆図表 2-2 (11) 市民アンケートの回答集計結果

問5(22) これまでは取り組んでいなかったが、今後、ごみの分別や減量・リサイクルのために、あなたが取り組みたいと思うことは何ですか？	回答数	割合※
ごみの分別をしっかりと行い、資源物をリユース・リサイクルする	449人	38.5%
生ごみの水切りを行う	424人	36.4%
マイバッグ・マイボトルを使う	353人	30.3%
食品は必要量を買う	344人	29.5%
期限の近い食品から食べる	339人	29.1%
料理をつくりすぎない	317人	27.2%
使用量に見合った購入量とする	281人	24.1%
再生品(コピー用紙・トイレットペーパーなど)を選ぶ	263人	22.6%
過剰包装を断る	225人	19.3%
飲食店では食べられる量を注文	223人	19.1%
詰め替え商品を選ぶ	220人	18.9%
出された料理は食べきる	211人	18.1%
繰り返し使える商品を選ぶ	177人	15.2%
繰り返し使える容器に入った商品を選ぶ	151人	13.0%
リサイクルショップの利用	128人	11.0%
フードドライブへの参加(食品の寄付)	93人	8.0%
生ごみ処理機器の使用	88人	7.6%
知り合い同士で譲り合う	85人	7.3%
フリマアプリの利用	63人	5.4%
使用頻度が低いものはレンタルする	61人	5.2%
バザーやフリマへの参加	54人	4.6%
特に何もしない	28人	2.4%
無回答	76人	6.5%
合 計	4,204人	—

※全回答数1,165人に対する回答数の割合です。



今後取り組みたいこととして最も多くの回答が得られた取り組みは「ごみの分別をしっかりと行い、資源物をリユース・リサイクルする」、次いで「生ごみの水切りを行う」となりました。他の取り組みに関しても、全てがごみの減量や資源化につながる行動であり、これらの行動をより積極的に実施してもらえるよう、より一層の行動変革を促す意識啓発や、これらの取り組みのために役立つ情報を、様々な媒体で発信していくものとします。

◆図表 2-2 (12) 市民アンケートの回答集計結果

自由意見(一部抜粋)

・ごみ収集に関するもの(91 件)

- ・近所には、新しく周南市へ引越して来る家族が多く、ゴミの分別や出し方を理解していない人がいる。又、自治会へ入会しない若い世帯の中には、市報やゴミカレンダーの存在を知らない人もいように思える。便利なごみアプリをもっと広めて欲しい。間違った出し方をしているのに 1 か月以上放置されているゴミもどうかしてもらいたい。

・ごみ分別に関するもの(111 件)

- ・他の地域と比べて分別が複雑すぎるのではないのでしょうか？汚れのとれない容器包装プラが可燃ゴミで出せるのなら他のものも可燃ゴミで出して大丈夫なのでは？と思ってしまいます。
- ・ごみ分別冊子とにらめっこしながら出していますが、どこにも当てはまらないような物が、時々あり、分別冊子の内容を、もう少し細かく充実してくれたら助かります。
- ・分別したごみがどのように処理、利用されるか教えていただけると分別への理解が深まると思います。

・3Rの取り組みに関するもの(35 件)

- ・まだ使用可能な粗大ゴミがある場合、もったいないが捨てるしか選択肢がない。次の人に渡せる場のようなものを作ってみればどうでしょう？（フリマアプリはめんどくさかったり、手間がかかってハードルが高いので。）持ち込まれた粗大ゴミを一時展示し持って帰って OK なコーナーを作るなど。必要とする人に渡るしくみを作してほしいです。

・生ごみの水切りに関するもの(13 件)

- ・生ごみの減量には水切りが有効と思います。以前は、キッチンで出た生ごみをしっかり水切りしたつもりで直接ごみ袋に入れていましたが、ごみ袋の底に水が溜っていました。現在は、生ごみは一担大きなカゴに入れ水切りしてごみ出し当日に袋に入れて出すようにしています。カゴから袋に入れる時も全く水は出ません。他にも色々な方法を実践されている方も多いと思いますので役立つ情報を広報して頂くとありがたいと思います。

・食品ロスに関するもの(20 件)

- ・地球環境の変化によって食料の生産が困難となってきつつあります。食について、食べ残しや期限切れのロスが出ないように皆で心していくべきだと思います。資源は限りある物として考え、有効に大切に取扱い扱っていただけたらと思います。そういった教育も小さい時から必要だと思います。

・生ごみ処理機器に関するもの(23 件)

- ・昨年、電気式生ごみ処理機を購入しました。家の中の中におい対策、ごみの削減、畑への肥料と、とても効率よく活用できています。各家庭への普及をとと思いますが、市の助成金がもう少しあればと思います。

・雑がみに関するもの(23 件)

- ・雑がみを分別する袋があれば分別しやすいと思う。お店などで紙袋をもらうことも少なくなったし、ひもで小さいものを束ねるのも難しいので。
- ・雑がみを古紙で出すようにしたら驚くほどゴミが減りました。

・高齢者支援に関するもの(23件)

- ・粗大ごみ収集について、一人で運べない時の対応について検討してほしい。今後、高齢になった時に困るので。

・その他(75件)

- ・アンケート記入をしたことで、自分達のゴミ生活がどのようなものなのか、ふり返ることができました。生ゴミ水切りの更なる強化や、古紙回収など、すぐ取り組めるものは努力していこうと思います。

資料3 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の将来推計

1 将来推計の手順

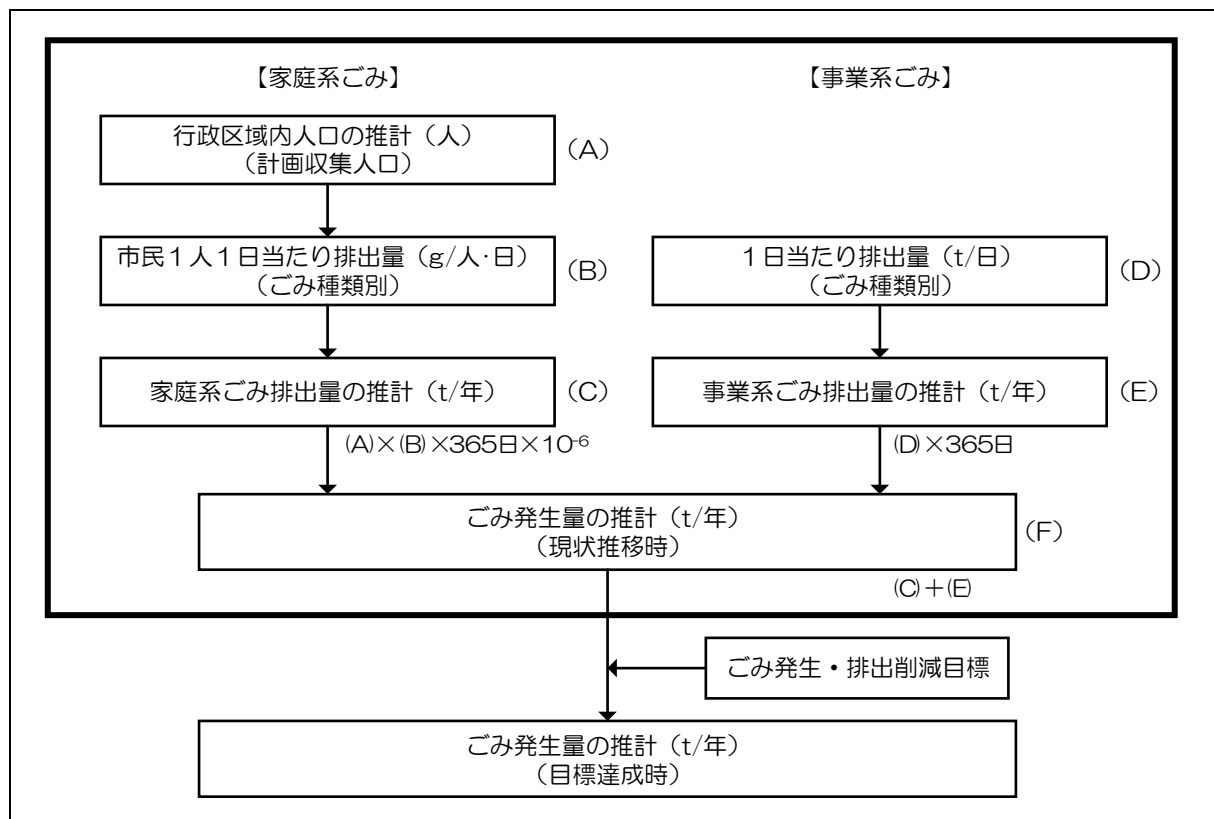
本計画におけるごみ排出量等の推計は、図表3-1に示す手順で行いました。

家庭系ごみ（資源団体回収を含む）については、ごみ種類別に市民1人1日当たりごみ排出量を原単位として推計し、これに行政区域内人口の将来推計結果を乗じることで将来推計値としました。

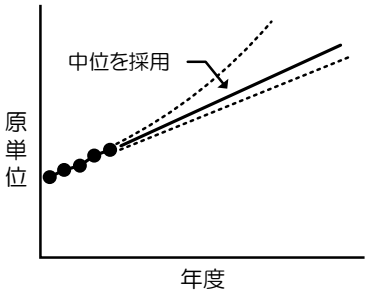
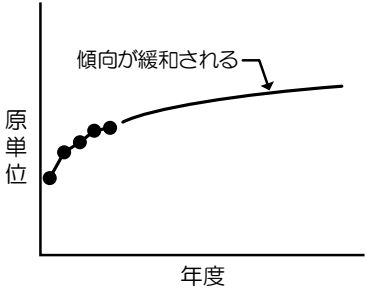
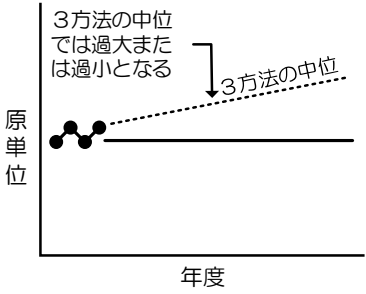
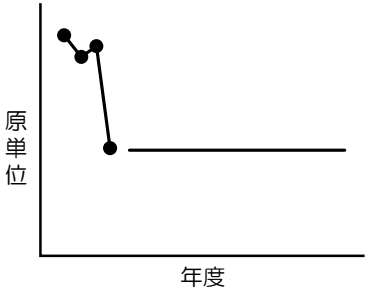
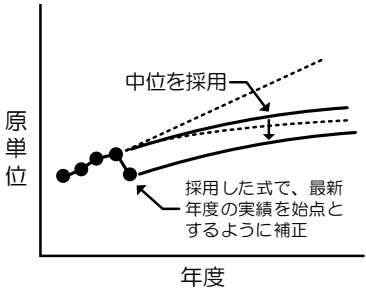
事業系ごみ排出量は事業活動に伴って増減するものであり、人口に直接起因するものではないことから、事業系ごみでは1日当たり排出量を原単位として推計し、これを将来推計値としました。

なお、将来推計に採用した推計方法は図表3-2に示すとおりであり、過去の実績値の推移を勘案して、適宜、適切な方法を採用しました。

◆図表 3-1 行政区域内人口及びごみ排出量の将来推計の手順



◆図表 3-2 採用する推計方法の考え方

推計方法	考え方
最小二乗法 等差級数法 等比級数法	○ 増加や減少が安定した傾向を示し、推計対象物の性格や他事例から今後この傾向が続くと判断できると考えられる場合に採用。 ○ 過大、過少とならないように3方法で推計した結果が計画目標年次において中位を示す推計式を採用。 
対数回帰法	○ 増加や減少傾向が徐々に緩和される傾向を示し、今後もこの傾向が続くと判断できる場合に採用。 
平均	○ 長期的には横ばい傾向を示すが、各年では増減を繰り返しており、トレンド法では実績値を反映した推計が困難と判断される場合に採用。 
指定年	○ 過去の実績値がない、あるいは将来推計を行ううえで参考とならないと判断される場合に採用。 
修正式	○ 過去の推移が近年に急変した場合に採用。 ○ 過去の推移を反映する推計式を採用し、最新年の実績値で修正。 

◆図表 3-3 (1) 実績値の扱いと採用した推計値

	ごみ種類	推計に使用した実績値の年数	採用した推計式	採用根拠
家庭系ごみ	燃やせるごみ	10 年間 (H26～R5)	対数回帰法	家庭系燃やせるごみは増減を繰り返しながらも、令和元年後以降はわずかに減少傾向にあります。これらの増減はいずれもわずかであり、今後、原単位の大幅な減少は見込めないことから、過去 10 年間の実績値を用いた、緩やかな減少傾向となる対数回帰法を推計式に採用しました。
	自己搬入可燃性粗大ごみ	6 年間 (H29～R1、R3～R5)	対数回帰法	平成 26 年度から増減を繰り返しつつも増加傾向にあり、令和 2 年度には特に大きく増加をしています。以降は減少傾向へ転じていますが、長期的に見ればわずかに増加傾向にあるものです。よって、極端に排出量が少ない年度や多い年度を除外した実績値を用いた、緩やかな増加傾向となる対数回帰法を推計式に採用しました。
	燃やせないごみ ・ 自己搬入不燃性粗大ごみ	9 年間 (H26～R1、R3～R5)	対数回帰法	平成 26 年度から増減を繰り返しつつもわずかに減少傾向にあります。今後、原単位の大幅な減少は見込めないことから、令和 2 年度に一時的に増加した実績値を除外し、過去 9 年間分の実績値を用いた、緩やかな減少傾向となる対数回帰法を推計式に採用しました。
	処理困難物	9 年間 (H26～H30、R1～R5)	対数回帰法	平成 26 年度から平成 28 年度まで減少しましたが、平成 30 年度にかけて同程度の排出量まで増加しており、以降 6 年間は緩やかな減少傾向となっています。今後、原単位原単位の大幅な減少は見込めないことから、平成 30 年度の実績値を除外した、過去 9 年間分の実績値を用いた、緩やかな減少傾向となる対数回帰法を推計式に採用しました。

◆図表 3-3 (2) 実績値の扱いと採用した推計値

	ごみ種類	推計に使用した実績値の年数	採用した推計式	採用根拠
家庭系ごみ	資源ごみ 古紙・衣類 ペットボトル びん・缶 容器包装プラスチック その他プラスチック 小型家電	10 年間 (H26～R5) ※その他プラスチックは9年間 (H26～R1、R3～R5) ※小型家電は4年間 (R2～R5)	対数回帰法	資源ごみは、ごみの区分ごとにそれぞれ推計を行っています。どの区分であっても過去 10 年間の変化は概ね緩やかで、今後も原単位の大きな変化は見込めないことから、現在の傾向が維持されるものとし、過去 10 年間分（その他プラスチックは 9 年間分、小型家電は 4 年間分）の実績値を用いた対数回帰法を推計式に採用しました。
	直営収集粗大ごみ	9 年間 (H26～H30、R1～R5)	対数回帰法	令和 3 年度以降、減少傾向に転じましたが、長期的には増加傾向にあります。今後、原単位の大幅な増加は見込めないことから、過去 9 年間の実績値を用いた、緩やかな増加傾向となる対数回帰法を推計式に採用しました。
事業系ごみ	燃やせるごみ	10 年間 (H26～R5)	対数回帰法	令和 2 年度以降、減少傾向に転じましたが、長期的には増加傾向にあります。今後、原単位の大幅な増加は見込めないことから、過去 9 年間の実績値を用いた、緩やかな増加傾向となる対数回帰法を推計式に採用しました。
	燃やせないごみ ・ 自己搬入不燃性粗大ごみ	10 年間 (H26～R5)	対数回帰法	わずかに増減はしていますが、過去 10 年間でおおむね横ばいとなっています。今後も原単位の大きな変化は見込めないことから、現在の傾向が維持されるものとし、過去 10 年間分の実績値を用いた対数回帰法を推計式に採用しました。

◆図表 3-3 (3) 実績値の扱いと採用した推計値

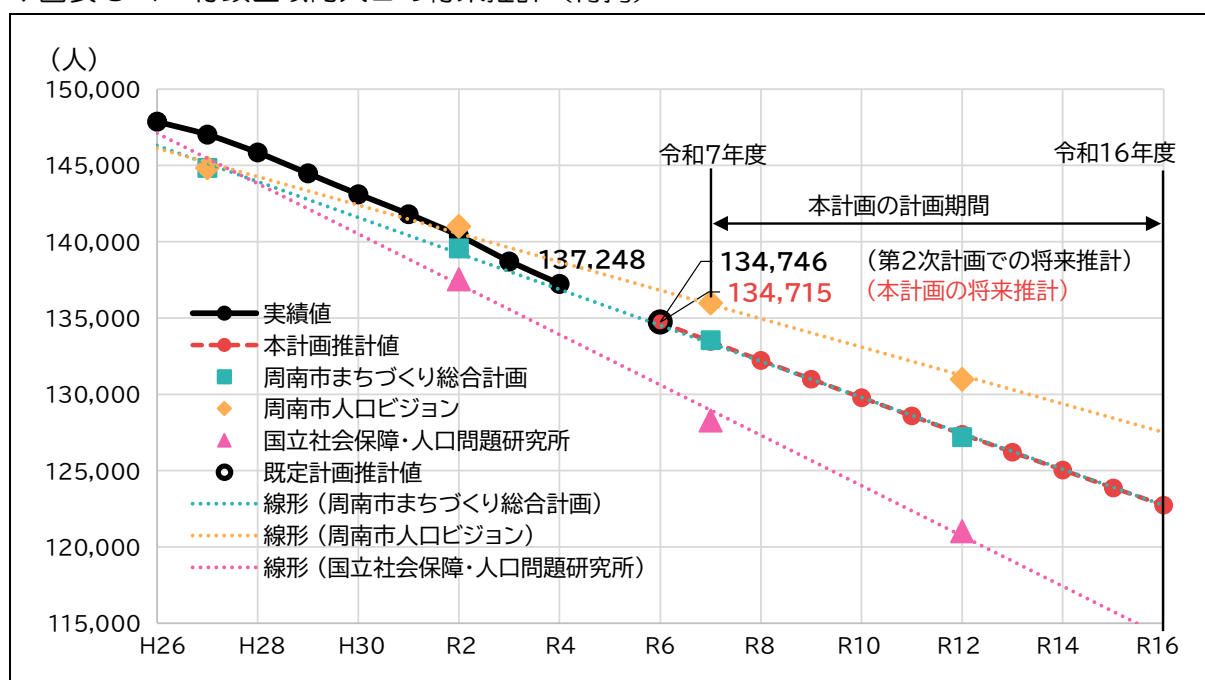
	ごみ種類	推計に使用した 実績値の年数	採用した 推計式	採用根拠
事業系ごみ	処理困難物	9 年間 (H26~R1、 R3~R5)	対数回帰法	わずかに増減はしていますが、過去 10 年間でおおむね横ばいとなっています。今後も原単位の大きな変化は見込めないことから、現在の傾向が維持されるものとし、過去 10 年間分の実績値を用いた対数回帰法を推計式に採用しました。
	資源ごみ ペットボトル びん・缶 容器包装プラス チック その他プラスチ ック	1 年間	指定年	資源ごみは、ごみの区分ごとにそれぞれ推計を行っています。どの区分であっても極端に排出量が少なく、過去の実績が 0 t である年度や、データの無い年度もあります。よって、全ての区分において最新年度の令和 5 年度の数値が継続するものとして今います。

2 行政区域内人口の将来推計

第2次計画での将来推計では、令和6年度の行政区域内人口の将来推計を 134,746 人としており、実績は 134,715 人と、大きな差はありませんでした。

本計画における行政区域内人口の将来推計は、本計画の上位計画である、周南市まちづくり総合計画や周南市人口ビジョンにおける人口推計や、「国立社会保障・人口問題研究所」における人口推計を比較し、中位に位置する周南市まちづくり総合計画に概ね沿った傾向を示す推計式を採用しました。

◆図表 3-4 行政区域内人口の将来推計（再掲）



◆図表3-5 ごみ排出量の実績及び将来推計結果（対策を講じなかった場合の将来推計）

人口		年度		行政区内人口																計画処理区域外人口																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ		燃やせるごみ		燃やせないごみ			

◆図表3-6 ごみ排出量の実績及び将来推計結果（対策を講じた場合の将来推計）

		年度		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
人口	行政区域内人口	【人】		147,863	147,010	145,839	144,472	143,113	141,809	140,392	138,718	137,248	135,315	134,715	133,466	132,229	131,003	129,789	128,586	127,394	126,213	125,043	123,884	122,795
	計画処理区域内人口	【人】		147,863	147,010	145,839	144,472	143,113	141,809	140,392	138,718	137,248	135,315	134,715	133,466	132,229	131,003	129,789	128,586	127,394	126,213	125,043	123,884	122,795
家庭系こみ	燃やせるこみ	年間ごみ量	【t/年度】	24,743	24,593	23,690	23,878	23,514	23,568	23,266	22,913	22,438	21,235	20,812	20,301	19,794	19,298	18,808	18,334	18,009	17,684	17,367	17,053	16,746
		一日ごみ量	【t/日】	67.8	67.4	64.9	65.4	64.4	64.6	63.7	62.8	61.5	58.2	57.0	55.6	54.2	52.9	51.5	50.2	49.3	48.5	47.6	46.7	45.9
	燃やせないこみ	原単位	【g/人/日】	458.5	458.3	445.0	452.8	450.1	455	454.0	452.5	447.9	429.9	423.3	416.7	410.2	403.6	397.1	390.6	387.3	383.9	380.5	377.1	373.8
		年間ごみ量	【t/年度】	51.5	55.5	51.8	58.6	56.3	62.2	68.5	61.0	58.3	52.4	52.6	52.2	51.5	51.1	50.7	50.4	49.6	49.3	48.9	48.9	48.5
	燃やせないこみ・自己搬入可燃性粗大ごみ	一日ごみ量	【t/日】	1.4	1.5	1.4	1.6	1.6	1.7	1.9	1.7	1.6	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3
		原単位	【g/人/日】	9.5	10.3	9.7	11.1	10.8	12.0	13.4	12.0	11.6	10.6	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.8	10.8
	燃やせないこみ・資源ごみ	年間ごみ量	【t/年度】	1,415	1,304	1,227	1,217	1,296	1,264	1,389	1,252	1,166	1,115	1,106	1,095	1,080	1,066	1,055	1,040	1,029	1,018	1,004	996	986
		一日ごみ量	【t/日】	3.9	3.6	3.4	3.3	3.6	3.5	3.8	3.4	3.2	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7
	燃やせないこみ・資源ごみ・処理困難物	原単位	【g/人/日】	26.2	24.3	23.1	23.1	24.8	24.4	27.1	24.7	23.3	22.6	22.5	22.5	22.4	22.3	22.3	22.2	22.1	22.1	22.0	22.0	22.0
		年間ごみ量	【t/年度】	1,056	844	795	817	1,010	859	873	818	746	719	708	697	686	679	668	657	646	639	631	621	613
	燃やせないこみ・資源ごみ・処理困難物	一日ごみ量	【t/日】	2.9	2.3	2.2	2.2	2.8	2.4	2.4	2.4	2.3	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7
		原単位	【g/人/日】	19.6	15.7	14.9	15.5	19.3	16.6	17.0	16.2	14.9	14.6	14.4	14.3	14.2	14.2	14.1	14.0	13.9	13.9	13.8	13.7	13.7
事業系こみ	古紙・布類	年間ごみ量	【t/年度】	4,214	4,065	3,734	3,452	3,367	3,085	3,006	2,890	2,748	2,544	2,584	2,617	2,646	2,683	2,723	2,763	2,752	2,748	2,741	2,734	2,730
		一日ごみ量	【t/日】	11.6	11.1	10.2	9.5	9.2	8.5	8.2	7.9	7.5	7.0	7.1	7.2	7.3	7.4	7.5	7.6	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
	ペットボトル	原単位	【g/人/日】	78.1	75.8	70.1	65.5	64.5	59.6	58.7	57.1	54.9	51.5	52.6	53.7	54.9	56.1	57.5	58.9	59.2	59.7	60.0	60.5	61.0
		年間ごみ量	【t/年度】	410	415	425	444	455	439	448	455	474	465	467	467	464	464	460	460	456	456	453	453	449
	びん・缶類	一日ごみ量	【t/日】	1.1	1.1	1.2	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2
		原単位	【g/人/日】	7.6	7.7	8.0	8.4	8.7	8.5	8.7	9.0	9.5	9.4	9.5	9.6	9.6	9.7	9.7	9.7	9.8	9.8	9.9	9.9	10.0
	容器包装プラスチック	年間ごみ量	【t/年度】	1,675	1,640	1,635	1,555	1,492	1,441	1,456	1,400	1,357	1,287	1,274	1,252	1,237	1,215	1,197	1,179	1,161	1,146	1,132	1,117	1,102
		一日ごみ量	【t/日】	4.6	4.5	4.5	4.3	4.1	3.9	4.0	3.8	3.7	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0
	その他プラスチック	原単位	【g/人/日】	31.0	30.6	30.7	29.5	28.6	27.8	28.4	27.7	27.1	26.1	25.9	25.7	25.6	25.4	25.3	25.1	25.0	24.9	24.8	24.7	24.6
		年間ごみ量	【t/年度】	2,568	2,574	2,577	2,583	2,601	2,487	2,430	2,353	2,304	2,224	2,208	2,183	2,161	2,139	2,113	2,091	2,070	2,051	2,026	2,008	1,986
	合計	年間ごみ量	【t/年度】	37,338	36,796	35,379	35,303	35,095	34,561	34,456	33,521	32,606	30,895	30,467	29,912	29,357	28,825	28,302	27,795	27,378	26,988	26,592	26,216	25,834
		一日ごみ量	【t/日】	102.3	100.8	96.9	96.7	96.2	94.7	94.4	91.9	89.3	84.6	83.5	82.0	80.4	79.0	77.5	76.2	75.0	73.9	72.9	71.8	70.8
合計	燃やせるこみ	原単位	【g/人/日】	691.8	685.7	664.6	669.5	671.9	667.7	672.4	662.1	650.9	625.5	619.6	614.0	608.3	602.8	597.4	592.2	588.8	585.8	582.6	579.8	576.7
		年間ごみ量	【t/年度】	11,236	11,238	11,447	11,719	11,718	11,824	10,887	10,979	10,993	10,733	10,544	10,353	10,162	9,975	9,787	9,600	9,501	9,402	9,307	9,211	9,112
	燃やせないこみ	一日ごみ量	【t/日】	30.8	30.8	31.4	32.1	32.1	32.4	29.8	30.1	30.1	29.4	28.9	28.4	27.8	27.3	26.8	26.3	26.0	25.8	25.5	25.2	25.0
		年間ごみ量	【t/年度】	37	36	44	40	54	67	54	48	37	35	37	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	資源ごみ	一日ごみ量	【t/日】	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		年間ごみ量	【t/年度】	14.7	12.9	15.3	14.7	13.6	14.0	11.2	13.6	12.9	12.2	12.0	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	11.3	11.3
	燃やせないこみ・自己搬入不燃性粗大ごみ	一日ごみ量	【t/日】	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
		年間ごみ量	【t/年度】	6	5	6	6	5	4	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペットボトル	一日ごみ量	【t/日】	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		年間ごみ量	【t/年度】	5.5	5.8	4.4	21	20	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	びん・缶類	一日ごみ量	【t/日】	0.15	0.16	0.12	0.06	0.05	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		年間ごみ量	【t/年度】	16.3	7.4	7.5	5.5	5.3	2.4	7	6	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
その他プラスチック	一日ごみ量	【t/日】	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.07	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	年間ごみ量	【t/年度】	19	19	22	26	31	20	14	12	9	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
合計	年間ごみ量	【t/年度】	0.05	0.05	0.06	0.07	0.08	0.05	0.04	0.03	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	一日ごみ量	【t/日】	11,663	11,559	11,791	12,014	12,017	12,091	11,077	11,1														

◆図表3-7 (1) ごみ処理内訳 (対策を講じなかった場合の将来推計)

◆図表3-7 (1) ごみ処理内訳 (対策を講じなかった場合の将来推計)																
内 容			単位	実績	推計	中間目標年度										計画目標年度
				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
ごみ排出量	燃やせるごみ・自己搬入可燃性粗大ごみ		t/年	32,492	32,354	32,116	31,876	31,646	31,419	31,197	30,981	30,762	30,562	30,350	30,145	
	燃やせないごみ・自己搬入不燃性粗大ごみ		t/年	1,150	1,143	1,135	1,120	1,106	1,095	1,080	1,069	1,058	1,044	1,036	1,026	
	処理困難物		t/年	841	828	814	803	796	785	774	763	756	748	734	726	
	資源物		t/年	7,056	6,961	6,841	6,728	6,618	6,509	6,414	6,308	6,224	6,127	6,046	5,958	
	直営収集粗大ごみ		t/年	255	256	252	252	248	248	248	248	245	241	241	237	
	ごみ排出量 合計		t/年	41,794	41,542	41,158	40,779	40,414	40,060	39,713	39,369	39,045	38,722	38,407	38,092	
	資源物団体回収		t/年	436	420	398	380	369	354	339	325	318	307	296	281	
	ごみ総排出量 合計		t/年	42,230	41,962	41,556	41,159	40,783	40,414	40,052	39,694	39,363	39,029	38,703	38,373	
	志路クリーンセンター		t/年	32,116	31,981	31,746	31,509	31,282	31,056	30,837	30,623	30,407	30,208	30,000	29,797	
	燃やせるごみ		t/年	31,000	30,869	30,642	30,413	30,193	29,977	29,765	29,559	29,350	29,159	28,957	28,761	
ごみ処理内訳	可燃性粗大ごみ		t/年	1,597	1,592	1,580	1,568	1,557	1,546	1,535	1,524	1,513	1,503	1,493	1,483	
	可燃性粗大ごみ		t/年	1,582	1,576	1,564	1,552	1,541	1,530	1,519	1,509	1,498	1,488	1,478	1,468	
	紙、ベッド布残渣		t/年	15	16	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	
	他施設にて計上		t/年	-531	-528	-524	-519	-515	-513	-508	-505	-501	-498	-494	-491	
	厨芥類、量、布団等	家庭ごみ搬入受付センターより	t/年	-176	-175	-173	-172	-170	-169	-167	-167	-166	-165	-163	-161	
	可燃性粗大残渣	ペガサスより	t/年	-355	-351	-346	-340	-335	-331	-326	-321	-317	-312	-309	-305	
	施設間移送		t/年	49	48	48	47	47	46	45	45	45	44	44	44	
	破砕後可燃性粗大	鹿野処分場より	t/年	49	48	48	47	47	46	45	45	45	44	44	44	
	焼却処理		t/年	3,032	3,019	2,997	2,974	2,953	2,932	2,911	2,891	2,870	2,852	2,832	2,813	
	焼却残渣 (主灰)	民間資源化へ	t/年	35	35	34	34	34	34	33	33	33	33	33	32	
ごみ処理内訳	焼却残渣 (飛灰)	民間資源化へ	t/年	1,978	1,970	1,955	1,940	1,927	1,913	1,899	1,886	1,872	1,861	1,848	1,835	
	焼却残渣 (主灰) 埋立	N7へ	t/年	1,019	1,014	1,008	1,000	992	985	979	972	965	958	951	946	
	家庭ごみ搬入受付センター		t/年	414	411	407	404	400	398	394	392	389	386	383	380	
	燃やせるごみ		t/年	385	382	379	376	373	371	368	366	363	361	358	356	
	資源物		t/年	29	29	28	28	27	27	26	26	26	25	25	24	
	古紙		t/年	29	29	28	28	27	27	26	26	26	25	25	24	
	施設間移送		t/年	393	390	387	384	380	378	374	372	369	367	364	361	
	古紙	民間資源化へ	t/年	29	29	29	28	28	28	28	27	27	27	27	27	
	破砕前可燃性粗大	ペガサスへ	t/年	188	186	185	184	182	181	179	178	176	175	174	173	
	厨芥類、量、布団等	志路00へ	t/年	176	175	173	172	170	169	167	167	166	165	163	161	
ごみ処理内訳	周南市リサイクルプラザ (ペガサス)		t/年	6,071	6,002	5,913	5,825	5,736	5,658	5,578	5,498	5,428	5,348	5,287	5,215	
	燃やせないごみ		t/年	796	791	786	775	766	758	748	740	732	723	717	710	
	不燃性粗大ごみ		t/年	290	288	286	283	279	276	273	270	267	264	261	259	
	直営収集粗大ごみ		t/年	259	260	256	256	252	256	252	252	249	245	245	241	
	直営収集粗大ごみ		t/年	255	256	252	252	248	252	248	248	245	241	241	237	
	直営収集粗大ごみのベッド布残渣		t/年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	資源物		t/年	4,499	4,439	4,363	4,290	4,220	4,151	4,090	4,023	3,969	3,907	3,856	3,799	
	その他プラスチック		t/年	518	511	502	494	486	478	471	463	457	450	444	437	
	容器包装プラスチック		t/年	2,228	2,198	2,161	2,124	2,090	2,056	2,025	1,992	1,965	1,935	1,909	1,881	
	びん・缶類		t/年	1,287	1,270	1,248	1,227	1,207	1,187	1,170	1,151	1,135	1,117	1,103	1,087	
ごみ処理内訳	ペットボトル		t/年	467	460	452	445	437	430	424	417	412	405	400	394	
	処理困難物		t/年	39	38	37	37	37	36	36	35	35	34	34	33	
	処理困難物		t/年	31	31	30	30	30	29	29	28	28	27	27	27	
	違反ごみ		t/年	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	
	不法投棄		t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	
	施設間移送		t/年	188	186	185	184	182	181	179	178	176	175	174	173	
	可燃性粗大 (大型家具、量)	家庭ごみ搬入受付センターより	t/年	188	186	185	184	182	181	179	178	176	175	174	173	
	資源化量		t/年	5,284	5,224	5,146	5,069	4,992	4,924	4,855	4,785	4,724	4,654	4,601	4,539	
	ペットボトル		t/年	361	357	352	347	341	337	332	327	323	318	315	310	
	容器包装プラスチック		t/年	1,755	1,735	1,709	1,683	1,658	1,635	1,612	1,589	1,569	1,546	1,528	1,507	
ごみ処理内訳	プラスチック等		t/年	865	855	842	830	817	806	795	783	773	762	753	743	
	不燃物バンク (不燃性粗大等ライン)		t/年	174	172	169	167	164	162	160	157	155	153	151	149	
	アルミ缶		t/年	246	243	240	236	233	229	226	223	220	217	214	212	
	スチール缶		t/年	101	100	99	97	96	95	93	92	91	89	88	87	
	アルミバンク		t/年	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	
	鉄バンク		t/年	62	61	60	59	58	58	57	56	55	54	54	53	
	不燃物バンク (びん・缶ライン)		t/年	527	521	513	505	498	491	484	477	471	464	459	453	
	白色びんカレット		t/年	55	55	54	53	52	52	51	50	50	49	48	48	
	茶色びんカレット		t/年	131	130	128	126	124	123	121	119	118	116	115	113	
	その他びんカレット		t/年	31	31	30	30	29	29	29	28	28	27	27	27	
ごみ処理内訳	その他金属		t/年	461	456	449	443	436	430	424	418	412	406	402	396	
	小型家電回収ボックス分含む)		t/年	15	15	15	15	14	14	14	14	14	13	13	13	
	家電リサイクル対象品 (不・違)		t/年	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	家電リサイクル対象品 (粗大)		t/年	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	
	処理困難物 (プラスチック等)		t/年	482	477	470	462	457	448	442	437	430	426	420	415	
	施設外へ搬出		t/年	573	566	558	549	541	534	526	518	512	504	499	492	
	可燃物バンク残渣 (びん・缶ライン)	N7へ	t/年	63	62	61	60	59	58	57	57	56	55	54	54	
	直接搬入処理困難物 (廃磁器等)	N7へ	t/年	57	56	55	54	53	53	52	51	51	50	49	49	
	処理困難物		t/年	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	
	可燃性粗大残渣		t/年	355	351	346	340	335	331	326	321	317	312	309	305	
ごみ処理内訳	汚ブラ		t/年	93	91	90	89	88	86	85	84	83	82	82	79	

◆図表3-7 (2) ごみ処理内訳 (対策を講じなかった場合の将来推計)

◆図表3-7 (2) ごみ処理内訳 (対策を講じなかった場合の将来推計)																			
内 容			備考	単位	実績	推計	中間目標年度											計画目標年度	
					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16			
処理内訳	処理困難物選別施設				t/年	710	699	687	678	673	664	654	644	639	632	621	613		
	選別	処理困難物		t/年	693	682	670	661	656	647	637	628	623	616	605	598			
	処理	処理困難物 (火災ごみ)		t/年	692	681	669	660	655	646	636	627	622	615	604	597			
	施設間移送等		t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	処理	処理困難物		t/年	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	16	15			
	処理	処理困難物		t/年	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5			
	粗大ごみ (自転車・ベッド)		t/年	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10			
	施設外へ搬出		t/年	736	724	712	703	697	688	678	667	658	644	635	626	617			
	選別後の処理残渣 (埋立)		t/年	562	553	544	537	532	525	518	509	500	492	483	474	465			
	選別後資源化 (金属)		t/年	54	53	52	52	51	51	50	49	48	47	46	45	44			
処理内訳	選別後資源化 (プラスチック)		t/年	53	52	51	51	50	50	49	48	47	46	45	44	43	42		
	選別後資源化 (電池・蛍光管)		t/年	52	51	50	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40		
	選別後資源化 (電池・蛍光管)		t/年	52	51	50	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40		
	処理困難物紙残渣		t/年	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
	処理困難物紙残渣		t/年	4	4	4	4	4	2	5	3	3	4	3	4	3	2		
	ベッド布残渣		t/年	4	4	4	4	4	2	5	3	3	4	3	4	3	2		
	鹿野一般廃棄物最終処分場		t/年	117	115	114	112	111	110	107	107	105	105	103	102	101	100		
	可燃性粗大ごみ		t/年	40	39	39	38	38	38	37	37	37	37	37	36	35	34		
	処理困難物		t/年	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11		
	不燃性粗大ごみ		t/年	64	64	63	62	61	61	59	59	57	57	56	55	54	53		
処理内訳	施設間移送		t/年	74	73	72	71	71	70	68	68	67	66	65	64	63	62		
	破砕後可燃性粗大		t/年	49	48	48	47	47	47	46	45	45	44	44	43	42	41		
	その他金属		t/年	23	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21	20		
	電池		t/年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	蛍光灯		t/年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	埋立処分		t/年	50	49	48	47	47	47	47	45	45	44	44	44	44	44		
	埋立		t/年	50	49	48	47	47	47	47	45	45	44	44	44	44	44		
	徳山下松港新南陽N7地区最終処分場		t/年	1,803	1,786	1,767	1,749	1,734	1,717	1,700	1,682	1,670	1,655	1,635	1,623	1,611	1,600		
	処理困難物		t/年	98	96	94	93	92	91	90	88	87	85	84	83	82	81		
	火災ごみ		t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
処理内訳	自治会清掃ごみ (公用搬入)		t/年	73	71	70	69	68	68	67	65	65	63	62	61	60	59		
	自治会清掃ごみ (熊毛地域)		t/年	24	24	23	23	23	22	22	22	22	21	21	21	21	21		
	施設間移送		t/年	1,705	1,690	1,673	1,656	1,642	1,626	1,610	1,594	1,582	1,568	1,550	1,539	1,527	1,516		
	埋立 (可燃バンカ)		t/年	63	62	61	60	59	58	57	57	56	55	54	54	53	52		
	埋立 (処理困難物選別残渣)		t/年	57	56	55	54	53	53	52	51	51	50	49	49	48	47		
	埋立 (処理困難物選別残渣)		t/年	567	558	549	542	538	530	522	514	510	505	496	490	483	476		
	埋立 (主灰)		t/年	1,019	1,014	1,008	1,000	992	985	979	972	965	958	951	946	940	934		
	資源物		t/年	2,528	2,493	2,450	2,410	2,371	2,332	2,297	2,260	2,229	2,195	2,166	2,134	2,103	2,072		
	古紙・衣類 (徳山地域)		t/年	2,528	2,493	2,450	2,410	2,371	2,332	2,297	2,260	2,229	2,195	2,166	2,134	2,103	2,072		
	古紙・衣類 (新南陽地域)		t/年	1,780	1,755	1,725	1,697	1,669	1,642	1,617	1,591	1,569	1,545	1,525	1,503	1,481	1,460		
資源化	資源化へ		t/年	458	452	444	437	430	423	416	410	404	398	392	387	381	376		
	古紙・衣類 (熊毛地域)		t/年	228	224	221	217	213	210	207	203	201	198	195	192	189	186		
	古紙・衣類 (鹿野地域)		t/年	49	48	48	47	46	45	44	43	43	42	42	41	41	40		
	資源化へ		t/年	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7		
	小型家電回収ボックス		t/年	4	4	3	4	5	4	4	4	4	4	3	4	4	4		
	小型家電宅配便		t/年	436	420	398	380	369	369	354	339	339	325	318	307	296	281		
	資源物団体回収		t/年	436	420	398	380	369	369	354	339	339	325	318	307	296	281		
	資源物団体回収		t/年	408	393	372	355	345	345	331	317	317	304	297	287	277	263		
	紙類		t/年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2		
	布類		t/年	15	14	14	13	13	13	12	12	12	11	11	11	10	10		
資源化	金属類		t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	びん類		t/年	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7		
	資源化へ (ベガスで計上)		t/年	4	4	3	4	5	4	4	4	4	4	3	4	4	4		
	資源化へ		t/年	436	420	398	380	369	369	354	339	339	325	318	307	296	281		
	資源物団体回収		t/年	436	420	398	380	369	369	354	339	339	325	318	307	296	281		
	資源物団体回収		t/年	408	393	372	355	345	345	331	317	317	304	297	287	277	263		
	紙類		t/年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2		
	布類		t/年	15	14	14	13	13	13	12	12	12	11	11	11	10	10		
	金属類		t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	びん類		t/年	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7		
資源化	資源化へ		t/年	436	420	398	380	369	369	354	339	339	325	318	307	296	281		
	資源物団体回収		t/年	436	420	398	380	369	369	354	339	339	325	318	307	296	281		
	資源物団体回収		t/年	408	393	372	355	345	345	331	317	317	304	297	287	277	263		
	紙類		t/年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2		
	布類		t/年	15	14	14	13	13	13	12	12	12	11	11	11	10	10		
	金属類		t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	びん類		t/年	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7		
	資源化へ		t/年	436	420	398	380	369	369	354	339	339	325	318	307	296	281		
	資源物団体回収		t/年	436	420	398	380	369	369	354	339	339	325	318	307	296	281		
	資源物団体回収		t/年	408	393	372	355	345	345	331	317	317	304	297	287	277	263		
資源化	紙類		t/年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2		
	布類		t/年	15	14	14	13	13	13	12	12	12	11	11	11	10	10		
	金属類		t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	びん類		t/年	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7		
	資源化へ		t/年	436	420	398	380	369	369	354	339	339	325	318	307	296	281		
	資源物団体回収		t/年	436	420	398	380	369	369	354	339	339	325	318	307	296	281		
	資源物団体回収		t/年	408	393	372	355	345	345	331	317	317	304	297	287	277	263		
	紙類		t/年	3	3	3	3	3	3	3									

◆図表3-8 (1) ごみ処理内訳（対策を講じた場合の将来推計）

内 容		単位													
燃やせるごみ・自己搬入可燃性粗大ごみ		t/年	32,492	31,882	31,176	30,471	29,784	29,102	28,438	28,006	27,579	27,167	26,753	26,343	
燃やせないごみ・自己搬入不燃性粗大ごみ		t/年	1,150	1,143	1,135	1,120	1,106	1,095	1,080	1,069	1,058	1,044	1,036	1,026	
処理困難物		t/年	841	828	814	803	796	785	774	763	756	748	734	726	
資源物		t/年	7,056	7,067	7,053	7,038	7,031	7,020	7,020	6,958	6,917	6,864	6,824	6,775	
直営収集粗大ごみ		t/年	255	256	252	252	248	252	248	248	245	241	241	237	
ごみ排出量 合計		t/年	41,794	41,176	40,430	39,684	38,965	38,254	37,560	37,044	36,555	36,064	35,588	35,107	
資源物団体回収		t/年	436	420	398	380	369	354	339	325	318	307	296	281	
ごみ総排出量 合計		t/年	42,230	41,596	40,828	40,064	39,334	38,608	37,899	37,369	36,873	36,371	35,884	35,388	
志路クリーンセンター		t/年	32,116	31,516	30,818	30,121	29,443	28,769	28,112	27,686	27,264	26,855	26,447	26,042	
燃やせるごみ		t/年	31,000	30,419	29,745	29,072	28,417	27,766	27,133	26,721	26,313	25,920	25,525	25,134	
可燃性粗大ごみ		t/年	1,597	1,569	1,534	1,499	1,465	1,432	1,399	1,378	1,357	1,337	1,316	1,296	
紙、ベッド布残渣		t/年	1,592	1,553	1,518	1,484	1,450	1,417	1,385	1,364	1,343	1,323	1,303	1,283	
他施設にて計上		t/年	15	16	16	15	15	15	14	14	14	14	13	13	
処理困難物選別施設より		t/年	-531	-520	-508	-497	-485	-474	-464	-457	-449	-444	-436	-430	
処理		t/年	-176	-173	-169	-166	-161	-158	-155	-153	-150	-149	-147	-144	
厨房類、量、布団等		t/年	-355	-354	-353	-351	-350	-349	-348	-345	-342	-339	-337	-334	
可燃性粗大残渣		t/年	49	48	47	47	46	45	44	44	43	42	42	42	
施設間移送		t/年	49	48	47	47	46	45	44	44	43	42	42	42	
焼却後可燃性粗大		t/年	49	48	47	47	46	45	44	44	43	42	42	42	
焼却処理		t/年	3,032	2,975	2,909	2,843	2,779	2,716	2,654	2,614	2,574	2,535	2,497	2,458	
処理		t/年	35	34	33	33	32	31	31	30	30	29	29	28	
民間資源化へ		t/年	1,978	1,941	1,898	1,855	1,813	1,772	1,731	1,705	1,679	1,654	1,629	1,604	
焼却残渣（飛灰）		t/年	1,019	1,000	978	955	934	913	892	879	865	852	839	826	
焼却残渣（主灰）埋立		t/年	414	405	397	389	380	372	365	359	353	349	344	339	
家庭ごみ搬入受付センター		t/年	385	376	368	360	351	343	336	330	325	321	316	311	
処理		t/年	29	29	29	29	29	29	29	29	29	28	28	28	
資源物		t/年	29	29	29	29	29	29	29	29	29	28	28	28	
古紙		t/年	393	385	377	369	361	353	347	341	335	331	327	322	
施設間移送		t/年	29	28	28	27	27	26	26	25	25	24	24	24	
古紙		t/年	188	184	180	176	173	169	166	163	160	158	156	154	
焼却前可燃性粗大		t/年	176	173	169	166	161	158	155	153	150	149	147	144	
ベガスへ		t/年	6,071	6,068	6,043	6,015	5,991	5,972	5,952	5,897	5,854	5,801	5,765	5,717	
茶路00へ		t/年	796	791	786	775	766	748	748	740	732	723	717	710	
直営収集粗大ごみ		t/年	290	288	286	283	279	276	273	270	267	264	261	259	
直営収集粗大ごみ		t/年	259	260	256	256	252	252	252	252	249	245	245	241	
直営収集粗大ごみ		t/年	255	256	252	252	248	252	248	248	245	241	241	237	
直営収集粗大ごみのベッド布残渣		t/年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
資源物		t/年	4,499	4,507	4,498	4,488	4,484	4,477	4,477	4,437	4,411	4,377	4,352	4,320	
その他プラスチック		t/年	518	519	518	517	516	515	515	511	508	504	501	497	
容器包装プラスチック		t/年	2,228	2,232	2,227	2,222	2,220	2,217	2,217	2,197	2,184	2,167	2,155	2,139	
びん・缶類		t/年	1,287	1,289	1,286	1,284	1,282	1,280	1,280	1,269	1,262	1,252	1,245	1,236	
ペットボトル		t/年	467	467	467	465	466	465	465	460	457	454	451	448	
処理困難物		t/年	39	38	37	37	37	36	36	35	35	34	34	33	
処理困難物		t/年	31	31	30	30	30	29	29	28	28	27	27	27	
違反ごみ		t/年	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	
不法投棄		t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	
施設間移送		t/年	188	184	180	176	173	169	166	163	160	158	156	154	
可燃性粗大（大型家具、量）		t/年	188	184	180	176	173	169	166	163	160	158	156	154	
資源物		t/年	5,284	5,281	5,259	5,235	5,214	5,197	5,180	5,132	5,095	5,049	5,017	4,976	
ペットボトル		t/年	361	361	360	358	357	355	354	351	348	345	343	340	
容器包装プラスチック		t/年	1,755	1,754	1,747	1,739	1,732	1,726	1,720	1,704	1,692	1,677	1,666	1,653	
プラスチック等		t/年	865	864	861	857	854	851	848	840	834	827	821	815	
不燃物バンク（不燃性粗大等ライン）		t/年	174	174	173	172	172	171	170	169	168	166	165	164	
アルミ缶		t/年	246	246	245	244	243	242	241	239	237	235	234	232	
スチール缶		t/年	101	101	101	101	100	100	99	99	98	97	96	96	
アルミバンク		t/年	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
鉄バンク		t/年	62	62	62	61	61	61	61	60	60	59	59	58	
不燃物バンク（びん・缶ライン）		t/年	527	527	524	522	520	518	516	512	508	503	500	496	
白色びんカレット		t/年	55	55	55	55	55	55	54	54	53	53	53	52	
茶色びんカレット		t/年	131	131	131	130	130	129	129	128	127	126	125	124	
その他びんカレット		t/年	31	31	31	31	31	31	31	30	30	30	30	29	
その他金属		t/年	461	459	457	457	455	454	452	448	445	441	438	434	
小型家電リサイクル対象品		t/年	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	
家電リサイクル対象品（不・違）		t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	
家電リサイクル対象品（粗大）		t/年	9	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
処理困難物（プラスチック等）		t/年	482	482	479	477	473	473	474	467	464	459	456	454	
施設外へ搬出		t/年	573	572	570	567	565	563	561	556	552	547	544	539	
N7へ		t/年	63	62	62	62	62	61	61	61	60	60	59	59	
可燃物バンク残渣（びん・缶ライン）		t/年	57	57	56	56	56	56	55	55	55	54	54	53	
直接搬入処理困難物（陶磁器等）		t/年	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
処理困難物		t/年	355	354	353	351	350	349	348	345	342	339	337	334	
可燃性粗大残渣		t/年	93	93	93	92	91	91	91	89	88	88	87	87	
汚プラ		t/年													

◆ 図表3-8 (2) 「み処理内訳」(対策を講じた)の各県の比率(単位:%)

◆図表3-8 (2) ごみ処理内訳 (対策を講じた場合の将来推計)

内 容		単位	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
処理内訳	資源化	資源物	t/年	710	699	687	678	673	664	654	645	640	633	622	614
		処理困難物	t/年	693	682	670	661	656	647	637	628	623	616	605	598
		処理困難物 (火災ごみ)	t/年	692	681	669	660	655	646	636	627	622	615	604	597
		処理困難物	t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		処理困難物	t/年	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16
	資源化	資源物	t/年	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
		処理困難物	t/年	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10
		処理困難物	t/年	736	724	712	703	697	688	678	668	656	645	636	628
		処理困難物	t/年	562	534	525	518	514	507	518	510	506	501	492	486
		処理困難物	t/年	54	51	51	50	50	49	49	49	49	49	48	47
処理内訳	資源化	資源物	t/年	53	50	49	49	48	48	48	48	48	47	46	45
		処理困難物	t/年	52	49	49	48	48	47	47	47	47	46	46	45
		処理困難物	t/年	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
処理内訳	資源化	資源物	t/年	4	30	28	28	27	27	27	27	27	27	27	27
		処理困難物	t/年	117	114	112	111	109	107	104	104	103	101	101	100
		処理困難物	t/年	40	38	37	37	36	35	34	34	33	33	32	32
		処理困難物	t/年	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11
		処理困難物	t/年	64	64	63	62	61	61	59	59	59	57	58	57
	資源化	資源物	t/年	74	72	71	71	69	68	66	66	66	64	64	64
		処理困難物	t/年	49	48	47	47	46	45	44	44	44	42	42	42
		処理困難物	t/年	23	22	22	22	21	21	20	20	20	20	20	20
		処理困難物	t/年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		処理困難物	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処理内訳	資源化	資源物	t/年	50	48	47	47	46	45	44	44	44	43	43	42
		処理困難物	t/年	50	48	47	47	46	45	44	44	44	43	43	42
		処理困難物	t/年	1,803	1,773	1,739	1,708	1,682	1,651	1,620	1,598	1,579	1,559	1,534	1,512
		処理困難物	t/年	98	96	94	93	92	91	90	88	87	85	84	84
		処理困難物	t/年	73	71	70	69	68	68	67	65	65	63	62	62
	資源化	資源物	t/年	24	24	23	23	23	22	22	22	21	21	21	21
		処理困難物	t/年	1,705	1,677	1,645	1,615	1,590	1,560	1,530	1,510	1,491	1,472	1,449	1,428
		処理困難物	t/年	63	62	62	62	62	61	61	61	60	60	59	59
		処理困難物	t/年	57	57	56	56	56	55	55	55	54	54	53	53
		処理困難物	t/年	567	558	549	542	538	530	522	515	511	506	497	490
処理内訳	資源化	資源物	t/年	1,019	1,000	978	955	934	913	892	879	865	852	839	826
		処理困難物	t/年	2,528	2,531	2,526	2,521	2,519	2,515	2,515	2,492	2,478	2,459	2,444	2,427
		処理困難物	t/年	2,528	2,531	2,526	2,521	2,519	2,515	2,515	2,492	2,478	2,459	2,444	2,427
		処理困難物	t/年	1,780	1,782	1,779	1,775	1,774	1,771	1,771	1,755	1,745	1,731	1,721	1,709
		処理困難物	t/年	458	459	458	457	456	456	456	452	449	446	443	440
	資源化	資源物	t/年	228	228	227	227	227	226	226	224	223	221	220	218
		処理困難物	t/年	49	49	49	49	49	49	49	49	48	48	47	47
		処理困難物	t/年	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8
		処理困難物	t/年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5
		処理困難物	t/年	436	420	398	380	369	354	339	325	318	307	296	281
処理内訳	資源化	資源物	t/年	436	420	398	380	369	354	339	325	318	307	296	281
		処理困難物	t/年	408	393	372	355	345	331	317	304	297	287	277	263
		処理困難物	t/年	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
		処理困難物	t/年	15	14	14	13	13	12	12	11	11	11	10	10
		処理困難物	t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	資源化	資源物	t/年	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8
		処理困難物	t/年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5
		処理困難物	t/年	8,018	8,008	7,980	7,948	7,923	7,899	7,884	7,809	7,758	7,689	7,640	7,581
		処理困難物	t/年	2,282	2,284	2,280	2,274	2,273	2,268	2,268	2,247	2,234	2,216	2,203	2,187
		処理困難物	t/年	954	949	946	941	936	933	929	921	915	906	900	893
処理内訳	資源化	資源物	t/年	745	744	741	738	736	733	730	724	718	712	708	701
		処理困難物	t/年	361	361	360	358	357	355	354	351	348	345	343	340
		処理困難物	t/年	261	262	261	261	260	257	256	252	251	251	251	251
		処理困難物	t/年	3,334	3,329	3,314	3,299	3,284	3,274	3,266	3,233	3,211	3,181	3,159	3,137
		処理困難物	t/年	1,755	1,752	1,744	1,737	1,729	1,723	1,719	1,702	1,690	1,674	1,663	1,651
	資源化	資源物	t/年	1,579	1,577	1,570	1,562	1,555	1,551	1,547	1,531	1,521	1,507	1,496	1,486
		処理困難物	t/年	81	79	78	77	77	76	77	76	75	75	75	72
		処理困難物	t/年	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9
		処理困難物	t/年	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18
		処理困難物	t/年	52	49	49	48	48	47	48	47	47	46	46	45
処理内訳	資源化	資源物	t/年	2,013	1,975	1,931	1,888	1,845	1,803	1,762	1,735	1,709	1,683	1,658	1,632
		処理困難物	t/年	2,314	2,271	2,221	2,171	2,122	2,073	2,026	1,995	1,965	1,936	1,906	1,877
		処理困難物	t/年	436	420	398	380	369	354	339	325	318	307	296	281
		処理困難物	t/年	12,781	12,674	12,530	12,387	12,259	12,129	12,011	11,864	11,750	11,615	11,500	11,371
		処理困難物	t/年	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	資源化	資源物	t/年	1,019	1,000	978	955	934	913	892	879	865	852	839	826
		処理困難物	t/年	2,528	2,531	2,526	2,521	2,519	2,515	2,515	2,492	2,478	2,459	2,444	2,427
		処理困難物	t/年	2,528	2,531	2,526	2,521	2,519	2,515	2,515	2,492	2,478	2,459	2,444	2,427
		処理困難物	t/年	1,780	1,782	1,779	1,775	1,774	1,771	1,771	1,755	1,745	1,731	1,721	1,709
		処理困難物	t/年	458	459	458	457	456	456	456	452	449	446	443	440
処理内訳	資源化	資源物	t/年	228	228	227	227	227	226	226	224	223	221	220	218
		処理困難物	t/年	49	49	49	49	49	49	49	49	48	48	47	47
		処理困難物	t/年	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8
		処理困難物	t/年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5
		処理困難物	t/年	436	420	398	380	369	354	339	325	318	307	296	281
	資源化	資源物	t/年	408	393	372	355	345	331	317	304	297	287	277	263
		処理困難物	t/年	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
		処理困難物	t/年	15	14	14	13	13	12	12	11	11	11	10	10
		処理困難物	t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		処理困難物	t/年	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8
処理内訳	資源化	資源物	t/年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5
		処理困難物	t/年	8,018	8,008	7,980	7,948	7,923	7,899	7,884	7,809	7,758	7,689	7,640	7,581
		処理困難物	t/年	2,282	2,284	2,280	2,274	2,273	2,268	2,268	2,247	2,234	2,216	2,203	2,187
		処理困難物	t/年	954	949	946	941	936	933	929	921	915	906	900	893
		処理困難物	t/年	745	744	741	738	736	733	730	724	718	712	708	701
	資源化	資源物	t/年	361	361	360	358	357	355	354	351	348	345	343	340
		処理困難物	t/年	261	262	261	261	260	257	256	252	251	251	251	251
		処理困難物	t/年	3,334	3,329	3,314	3,299	3,284	3,274	3,266	3,233	3,211	3,181	3,159	3,137
		処理困難物	t/年	1,755	1,752	1,744	1,737	1,729	1,723	1,719	1,702	1,690	1,674	1,663	1,651
		処理困難物	t/年	1,579	1,577	1,570	1,562	1,555	1,551	1,547	1,531	1,521	1,507	1,496	1,486
処理内訳	資源化	資源物	t/年	81	79	78	77	77	76	77	76	75	75	75	72
		処理困難物	t/年	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9
		処理困難物	t/年	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18
		処理困難物	t/年	52	49	49	48	48	47	48	47	47	46	46	45
		処理困難物	t/年	2,013	1,975	1,931	1,888	1,845	1,803	1,762	1,735	1,709	1,683	1,658	1,632
	資源化	資源物	t/年	2,314	2,271	2,221	2,171	2,122	2,073	2,026	1,995	1,965	1,936	1,906	1,877
		処理困難物	t/年	436	420	398	380	369	354	339	325	318	307	296	281
		処理困難物	t/年	12,781	12,674	12,530	12,387	12,259	12,129	12,011	11,864	11,750	11,615	11,500	11,371
		処理困難物	t/年	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
		処理困難物	t/年	1,019	1,000	978	955	934	913	892	879	865	852	839	826
処理内訳	資源化	資源物	t/年	2,528	2,531	2,526	2,521	2,519	2,515	2,515	2,492	2,478	2,459	2,444	2,427
		処理困難物	t/年	2,528	2,531	2,526	2,521	2,519	2,515	2,515	2,492	2			